

三郷市スポーツ振興基本計画

－ スポーツで交流し、活力あるまちづくり －

スポーツで交流し、 活力あるまちづくり



三郷市では、「スポーツを愛し、スポーツに親しみ、健康で住みよい郷土をつくるため」平成2年に「スポーツ健康都市」を宣言し、市民が身近な地域において幼児から高齢者までがそれぞれのライフステージに応じて、日常的にスポーツ・レクリエーションに親しみながら、仲間との交流・ふれあいができるよう、その環境づくりに努めてきました。

近年、余暇時間の増大や少子高齢化の進展などの社会環境の変化に伴い、生涯を通じての健康づくりや仲間づくりへの関心がますます高まりをみせるなか、スポーツが果たす役割が極めて重要になってきました。

このような状況を踏まえ、三郷市のスポーツ振興施策を総合的かつ計画的に推進し、市民の生涯スポーツの一層の振興を図れるよう、「三郷市スポーツ振興基本計画」を策定しました。

本市ではこれを契機に、さらに関係機関、団体のご協力を得ながらスポーツに親しめる環境づくりに取り組んでまいります。

今後とも、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

計画策定にあたり、三郷市スポーツ振興審議会委員の皆様はじめ、多くの関係者の皆様から貴重なご意見をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

平成22年10月

三郷市長 木津雅晟

目 次

第1編 総論	1
第1章 計画策定の趣旨・目的	1
第2章 計画の位置づけと役割	2
第3章 計画期間	3
第4章 計画の策定体制等	3
第5章 計画策定の背景	4
1. 三郷市のスポーツ環境	4
(1) 三郷市のスポーツの歴史と伝統	4
(2) 主要なスポーツ・レクリエーション施設の概要	5
(3) 生涯スポーツ関係団体の概要	14
(4) スポーツイベント・教室等の概要	21
(5) その他	24
2. 市民のスポーツ活動の実態と要望	27
(1) スポーツ活動の状況	27
(2) スポーツ活動に対する今後の意向	29
(3) 団体における活動上の問題点	31
(4) 総合型地域スポーツクラブ	32
3. 国や県の動向	33
(1) 国のスポーツ振興基本計画	33
(2) 埼玉県スポーツ振興計画	34
4. 三郷市のスポーツ環境の特徴と課題	35
第2編 スポーツ振興の基本的考え方	39
第1章 基本理念	39
第2章 基本方針	40
第3章 施策体系	42
第4章 重点施策	44
1. 重点施策の設定	44
2. 三郷市スポーツ推進戦略	45

第3編 基本計画 47

第1章 交流 — スポーツによる市民「交流・健康づくり」の推進 —	47
1. スポーツをする	47
1) 総合型地域スポーツクラブの育成	47
2) スポーツイベントの充実	48
3) スポーツ団体の育成・支援	49
4) 身近な施設の活用促進	49
2. スポーツにしたしむ	51
1) 情報収集・提供体制の整備	51
2) スポーツ活動の安全確保	51
3) スポーツ・レクリエーションの普及・啓発	52
4) だれでも参加しやすい環境整備	52
5) 健康づくり事業の充実	53
6) 文化活動との連携	54
第2章 活力 — スポーツによる地域の「活力」づくり —	55
1. スポーツをたかめる	55
1) スポーツ・レクリエーション拠点の整備	55
2) スポーツ競技力の向上	56
2. スポーツをみる	57
1) 広域競技スポーツ大会の誘致	57
2) スポーツ観戦機会の提供	57
第3章 地域力 — スポーツによる「地域力」のアップ —	58
1. スポーツをささえる	58
1) スポーツボランティアの育成	58
2) 指導者の育成	58
3) 市民・企業との連携強化	59
2. スポーツではぐくむ	60
1) 子どものスポーツ活動の支援	60
2) 学校部活動の充実	60

第4編 計画の推進 61

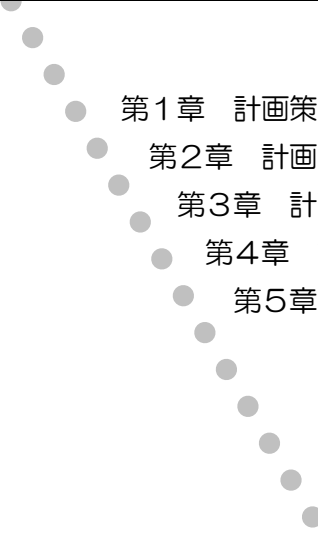
1. 数値目標 61
2. 計画の推進体制 62
 - (1) 市民への周知徹底 62
 - (2) 市民協働による推進 62
 - (3) スポーツ関係団体との協働・協調 62
 - (4) 民間施設・企業との連携 62
 - (5) 全庁的な取り組み 63
 - (6) 計画の進行管理 63

資料編 65

1. 策定経過 65
2. 三郷市スポーツ振興審議会委員名簿 67
3. 三郷市スポーツ振興基本計画策定委員会設置規程 68
4. 三郷市スポーツ振興基本計画策定委員会委員名簿 71
5. 三郷市スポーツ振興基本計画策定作業部会員名簿 72



第1編 総論



第1章 計画策定の趣旨・目的	1
第2章 計画の位置づけと役割	2
第3章 計画期間	3
第4章 計画の策定体制等	3
第5章 計画策定の背景	4

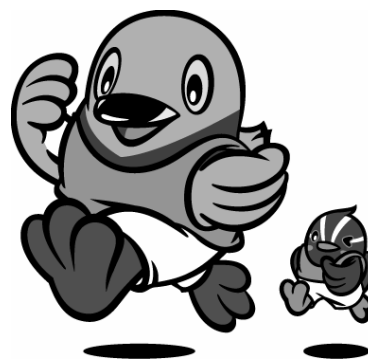
第1編 総論

第1章 計画策定の趣旨・目的

少子高齢社会の進展、情報化、国際化社会など、近年、わたしたちを取り巻く社会は大きく変動しています。なかでも、市民の生涯学習活動が活発化し、生涯を通じた生きがいづくりやこころの豊かさを求める市民が増えてきました。文化的活動への関心とともに、健康づくりや体力づくり、仲間づくりへの関心が高まっており、市民のスポーツ活動に対する関心とニーズは、高度化、多様化しています。

このような市民のニーズに対応するために、いつでも、誰でも、気軽に、多様なスポーツやレクリエーションを楽しめる環境づくりを進める必要があります。

そこで、三郷市のスポーツ振興施策を総合的かつ計画的に推進し、市民の生涯スポーツ活動の一層の振興を図れるよう、「三郷市スポーツ振興基本計画」を策定します。



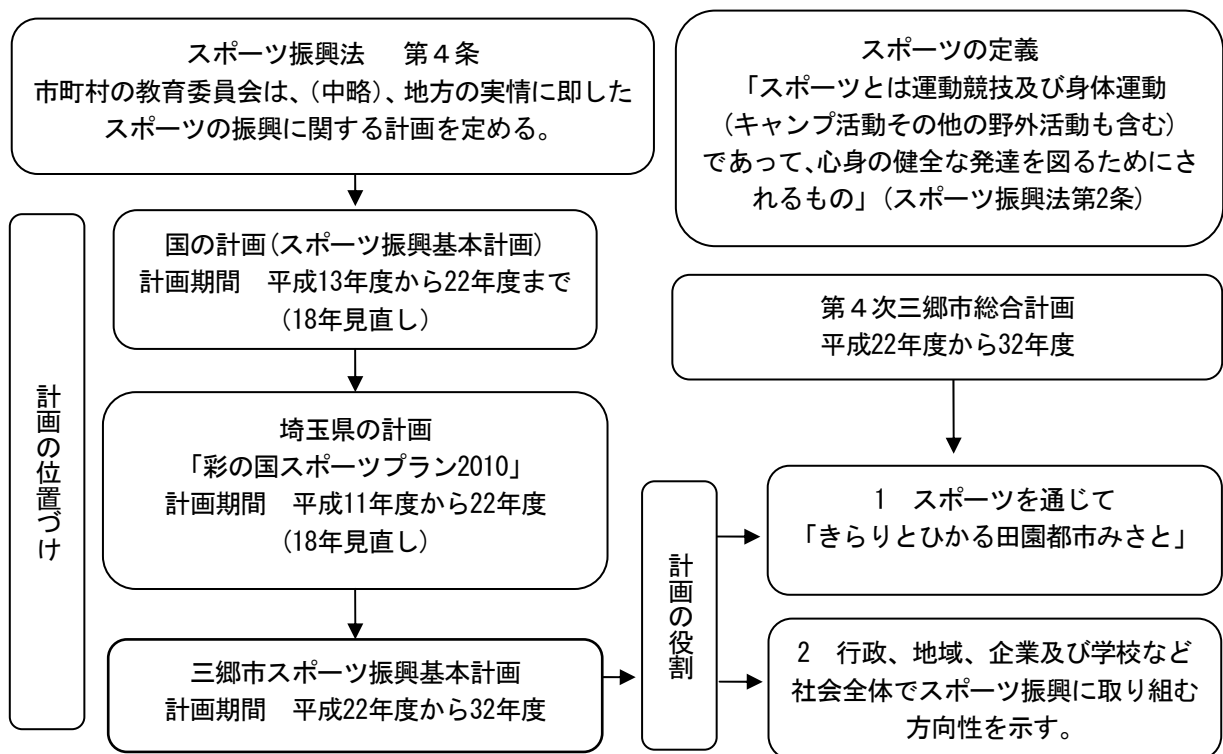
第2章 計画の位置づけと役割

この計画は、「スポーツ振興法第4条第3項」に基づく計画として策定するものです。

また、計画で取り扱う「スポーツ」とは、「運動競技及び身体運動（キャンプ活動その他の野外活動を含む。）であって、心身の健全な発展を図るためにされるもの」を指します（スポーツ振興法第2条）。

この計画は、本市の行政、学校、市民、企業など地域社会全体でスポーツ振興に取り組む基本的方向を示すものであり、国のスポーツ振興基本計画や県のスポーツ振興計画、第4次三郷市総合計画など、関連計画との整合性を踏まえて策定するものです。

なお、学校体育施設については本計画の整備対象としますが、学校教育における保健体育の教育内容については計画の対象外とします。



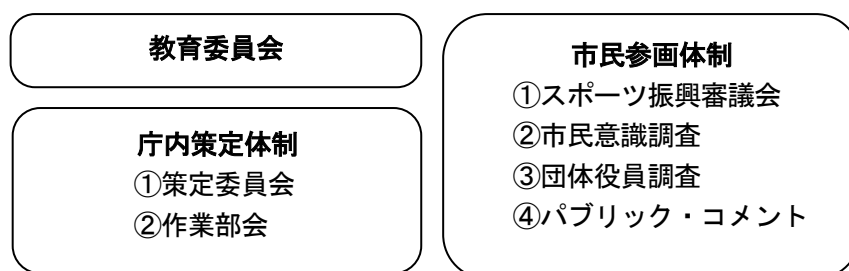
第3章 計画期間

この計画の期間は、『第4次三郷市総合計画』との整合性を図るため、平成22年度(2010年度)から平成32年度(2020年度)までの11年間とします。

また、社会情勢等の変化に対応するため、中間年での見直しを行います。

第4章 計画の策定体制等

本計画は、教育委員会、庁内における策定委員会及び作業部会における検討はもとより、市民参画体制として、市民意識調査やパブリック・コメントの実施、スポーツ振興審議会での審議を踏まえて策定します。



第5章 計画策定の背景

1. 三郷市のスポーツ環境

(1) 三郷市のスポーツの歴史と伝統

①世界で活躍する選手を輩出

三郷市は古くからスポーツが盛んな土地柄です。これまで、三郷市からは世界的に活躍する有名なスポーツ選手が輩出されています。市内にはオリンピックの金メダリストや各種の世界大会出場者、国内外で活躍するプロフェッショナル選手や国民体育大会出場者などのアスリートが在住しています。

市ではこれらのトップアスリートの方々の協力を得て、各種のスポーツ振興に取り組んでいます。

②子どもたちが活躍するまち

三郷市では、「スポーツ競技大会出場選手奨励支援事業」を通じて、国際大会や全国大会に出場する選手に奨励金を支給しています。近年この奨励金を支給する対象者として青少年や小中学生が増加しています。

ジュニアからの積極的な支援が、市内のスポーツ競技力の向上につながっています。

(2) 主要なスポーツ・レクリエーション施設の概要

①生涯スポーツ施設

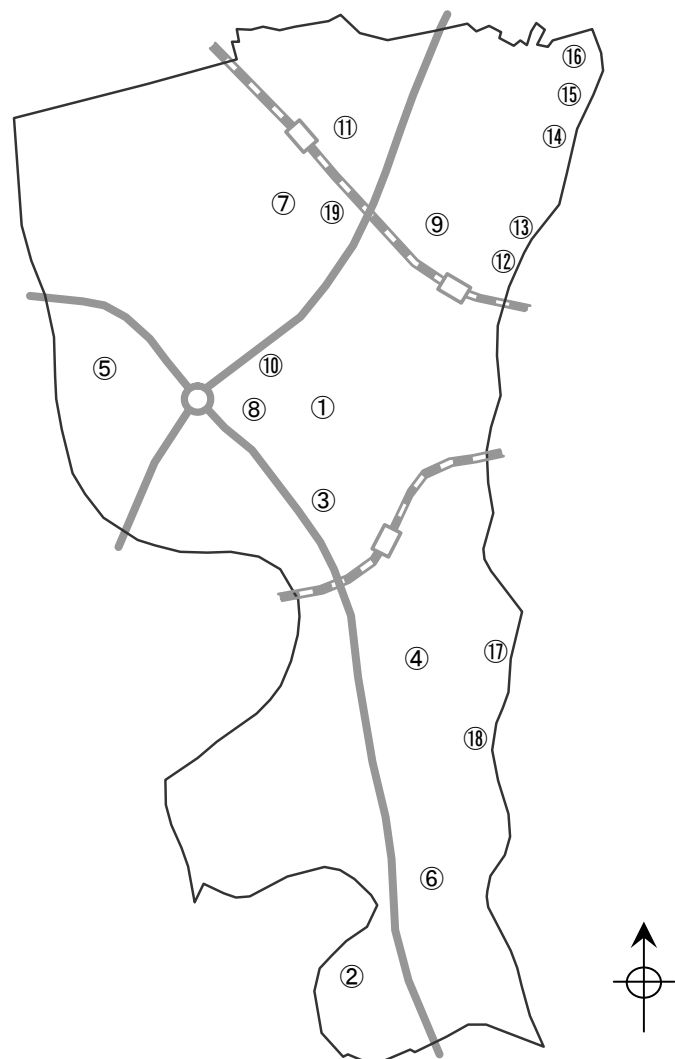
生涯スポーツ施設は、総合体育館や高州地区体育館、勤労者体育館などをはじめとして、地区文化センターの体育室、スカイパークや9つの運動公園など、市内各地に多くの施設が整備されています。

特に総合体育館においては、平成16年に開催された『彩の国まごころ国体』のハンドボール競技（成年女子）が行われたのをはじめ、『平成20年度全国高等学校総合体育大会』でもハンドボール競技（女子）が行われました。また、こうした公式競技大会だけでなく、「フィットネス体操」や「体験スポーツ」、「ウォーキング教室」など多彩な事業を実施しているほか、団体等への貸し出しを行っており、年間利用人数は延べ19万人を超えています。

■生涯スポーツ施設位置図

【凡例】

番号	施設名
①	総合体育館
②	高州地区体育館
③	勤労者体育館
④	東和東地区文化センター
⑤	彦成地区文化センター
⑥	鷹野文化センター
⑦	瑞沼市民センター
⑧	三郷スカイパーク
⑨	早稲田公園
⑩	番匠免運動公園
⑪	半田運動公園
⑫	江戸川運動公園
⑬	江戸川第二運動公園
⑭	江戸川第三運動公園
⑮	江戸川北運動公園
⑯	新和運動公園
⑰	長戸呂運動公園
⑱	ららシティくすのき公園



■ 生涯スポーツ施設の概要（平成21年度末）

	施設名	施設内容	所在地	年間利用人数 (平成21年度末)
①	総合体育館	メインアリーナ 1,681㎡、サブアリーナ 560㎡、トレーニングルーム、柔道場、剣道場、選手控室、大会役員室、放送室、医務室、クラブ室、更衣室（含シャワー）、観客席（1,874席）、ランニングコース、会議室、多目的室	茂田井2番地	194,203人
②	高州地区体育館	アリーナ（体育室）709.2㎡、更衣室・シャワー室、会議室、憩いの広場1,084.65㎡	高州3丁目29番地	20,697人
③	勤労者体育館	体育室1,087.5㎡、格技室、トレーニング室、更衣室、シャワー室、放送室	谷口571番地	42,498人
④	東和東地区文化センター	体育室 619.8㎡	新和3丁目261番地2	23,108人
⑤	彦成地区文化センター	体育室 660.2㎡	彦野1丁目161番地	20,634人
⑥	鷹野文化センター	体育室 725㎡	鷹野4丁目70番地	17,855人
⑦	瑞沼市民センター	体育室 590.23㎡、運動場	上彦名870番地	22,504人
⑧	三郷スカイパーク	多目的広場5面（少年サッカー場3面兼サッカー場1面、少年サッカー場1面他）	埼玉県中川水循環センターの下水処理施設上部	26,485人
⑨	早稲田公園	テニスコート3面、プール（夏期のみ）	早稲田4丁目4番地	27,030人
⑩	番匠免運動公園	テニスコート8面、野球場3面、多目的広場1面兼少年サッカー場3面	番匠免3丁目地内	54,339人
⑪	半田運動公園	野球場4面（野球としては2面、ソフトボールとしては4面）	半田849番地	29,789人
⑫	江戸川運動公園	野球場4面、サッカー場1面、ラグビー場1面、多目的広場1面	早稲田1丁目地先（江戸川右岸河川敷）	33,624人
⑬	江戸川第二運動公園	野球場4面	早稲田3丁目地先（江戸川右岸河川敷）	9,300人
⑭	江戸川第三運動公園	野球場9面、多目的広場兼サッカー場1面、多目的広場1面	早稲田7丁目地先（江戸川右岸河川敷）	850人 (平成22年1月開設)
⑮	江戸川北運動公園	野球場4面	田中新田地先（江戸川右岸河川敷）	工事中(国)
⑯	江戸川第二北運動公園	野球場2面、多目的広場兼サッカー場1面	田中新田地先（江戸川右岸河川敷）	工事中(国)
⑰	新和運動公園	野球場1面	新和4丁目地先（江戸川右岸河川敷）	1,200人
⑱	長戸呂運動公園	野球場1面	鷹野1丁目地先（江戸川右岸河川敷）	1,200人
⑲	ららシティくすのき公園	テニスコート2面	新三郷ららシティ1丁目地内	2,671人

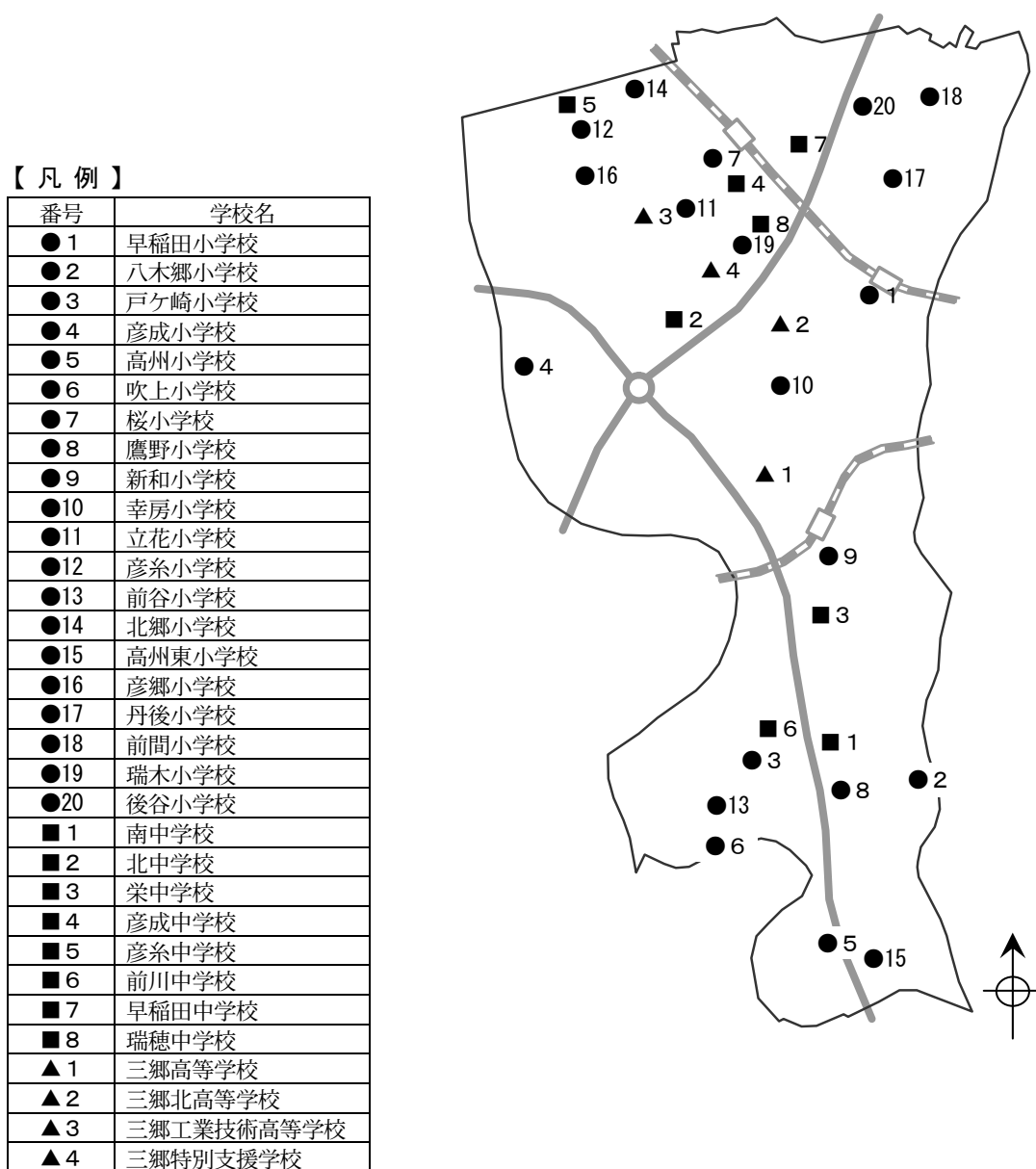
資料：スポーツ推進課調べ

②学校教育関係施設

小・中学校の運動場（体育館及び校庭）は、市民のスポーツ活動に対しても開放されており、地域の身近な運動施設として市民に多く利用されています。

また、市内の県立高等学校及び特別支援学校においても、グラウンドやテニスコートなどの施設が開放されています。

■学校教育関係施設位置図



■ 小学校体育施設開放概要

【屋内運動場】

開放日時：日曜日・祝日・土曜日→9：00～21：00 平日→19：00～21：00

(平成21年度末)

学校名	面積 (㎡)	種目	登録 団体数	登録人数 (人)
早稲田小学校	877	バレーボール、バスケットボール、空手道、卓球、インディアカ、ソフトバレーボール	9	177
八木郷小学校	850	卓球、インディアカ、ソフトバレーボール	6	78
戸ヶ崎小学校	853	バレーボール、卓球、剣道、ラージボール	10	126
彦成小学校	845	バレーボール、バドミントン	5	66
高州小学校	823	卓球、剣道、インディアカ、フットサル、エアロビクス	6	125
吹上小学校	845	卓球、剣道、インディアカ、空手道	7	100
桜小学校	647	バレーボール、バドミントン、卓球、剣道、フットサル	7	131
鷹野小学校	891	バレーボール、バドミントン、ミニバスケットボール、インディアカ、ソフトバレーボール	5	94
新和小学校	887	バレーボール、卓球、インディアカ、空手道、和太鼓、ソフトバレーボール、ミニソフトテニス、バドミントン	13	182
幸房小学校	873	バレーボール、空手道、ソフトバレーボール、ダンス	7	121
立花小学校	871	バレーボール、バドミントン、剣道、ソフトバレーボール	5	60
彦糸小学校	859	バレーボール、バスケットボール、ソフトバレーボール、フットサル	5	76
前谷小学校	865	バレーボール、バドミントン、剣道、インディアカ	10	150
北郷小学校	861	バレーボール、バドミントン、ミニバスケットボール	4	72
高州東小学校	867	バレーボール、卓球、ソフトバレーボール、テニス	6	86
彦郷小学校	859	バレーボール、バドミントン、空手道、剣道、インディアカ、フットサル	8	179
丹後小学校	849	バレーボール、バドミントン、空手道、卓球、ミニバスケットボール	9	131
前間小学校	818	バレーボール、バドミントン、空手道、ミニバスケットボール	4	66
瑞木小学校	817	バレーボール、バドミントン、ミニバスケットボール、ソフトバレーボール、ミニソフトテニス、バスケットボール	10	148
後谷小学校	972	バレーボール、バスケットボール、卓球、ミニバスケットボール、サーキットトレーニング	8	116
		計	144	2,284

【屋外運動場】

開放日時：日曜日・祝日・第2第4土曜日→9：00～17：00

(平成21年度末)

学校名	面積 (㎡)	種目	登録 団体数	登録人数 (人)
早稲田小学校	8,598	ソフトボール、少年野球、グラウンドゴルフ	4	88
八木郷小学校	5,368	ソフトボール、少年野球、グラウンドゴルフ	6	165
戸ヶ崎小学校	6,630	ソフトボール、少年野球、サッカー、グラウンドゴルフ	6	168
彦成小学校	6,943	ソフトボール、少年野球	5	115
高州小学校	7,298	ソフトボール、少年野球、サッカー、グラウンドゴルフ	5	87
吹上小学校	5,100	ソフトボール、少年野球、グラウンドゴルフ	5	132
桜小学校	7,295	ソフトボール、サッカー	4	88
鷹野小学校	9,435	ソフトボール、グラウンドゴルフ	10	197
新和小学校	7,749	ソフトボール、少年野球、グラウンドゴルフ、 多項目スポーツ	13	409
幸房小学校	9,072	ソフトボール、少年野球、サッカー、グラウンドゴルフ	7	150
立花小学校	6,900	ソフトボール、サッカー	2	90
彦糸小学校	7,778	ソフトボール、少年野球、サッカー	5	109
前谷小学校	7,062	ソフトボール、少年野球、サッカー、グラウンドゴルフ	6	125
北郷小学校	7,612	ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフ	7	141
高州東小学校	5,163	ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフ、 少年野球	6	127
彦郷小学校	7,732	ソフトボール、サッカー	5	162
丹後小学校	9,750	ソフトボール、サッカー	6	96
前間小学校	9,012	ソフトボール、少年野球、サッカー	4	56
瑞木小学校	7,958	ソフトボール、少年野球、サッカー	5	247
後谷小学校	6,573	少年野球、グラウンドゴルフ	3	89
計			114	2,841

資料：スポーツ推進課調べ

■ 中学校体育施設開放概要

【屋内運動場】

開放日時：日曜日～土曜日→19：00～21：00

(平成21年度末)

学校名	面積 (㎡)	種目	登録 団体数	登録人数 (人)
南中学校	1,561	バレーボール、バドミントン、バスケットボール、インディアカ、ソフトバレーボール、剣道	8	102
北中学校	1,726	バレーボール、バスケットボール、バドミントン	4	55
栄中学校	1,829	バレーボール、バスケットボール、剣道、サッカー、柔道、ジャズダンス、空手	13	181
彦成中学校	1,308	バレーボール、バスケットボール	6	91
彦糸中学校	1,485	バレーボール、バスケットボール	6	76
前川中学校	1,501	バレーボール、バドミントン、インディアカ、ソフトバレーボール、総合武道	9	199
早稲田中学校	1,473	バレーボール、バドミントン、バスケットボール、ミニソフトテニス	7	100
瑞穂中学校	1,400	バレーボール、バスケットボール、多種目スポーツ、剣道	5	89
計			58	893

【屋外運動場（夜間照明施設利用）】

開放日時：毎年1月8日～12月24日→19：00～21：00

(平成21年度末)

学校名	面積 (㎡)	種目	登録 団体数	登録人数 (人)
南中学校	12,934	ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフ	22	510
北中学校	13,813	ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフ		
栄中学校	9,866	ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフ		

資料：スポーツ推進課調べ

■ 小・中学校体育施設開放 登録状況（平成21年度末）

項目		登録数
屋 内	団体数	202
	人数（人）	3,177
屋 外	団体数	114
	人数（人）	2,841
計	団体数	316
	人数（人）	6,018

資料：スポーツ推進課調べ

■ 県立高等学校・特別支援学校開放内容（平成21年10月現在）

学校名	開放施設	開放日時
三郷高等学校	グラウンド、テニスコート、柔道場	各校各施設による
三郷北高等学校	テニスコート、柔道場	
三郷工業技術高等学校	テニスコート、柔道場、剣道場	
三郷特別支援学校	体育館、グラウンド、プール	

資料：スポーツ推進課調べ

③その他社会教育・コミュニティ関連施設

社会教育やコミュニティ関連施設でも、体育室などを活用してスポーツ・レクリエーション活動が行われています。また、児童館や児童センターにおいても、子どもが楽しめるスポーツ・レクリエーションが提供されています。

■ その他社会教育・コミュニティ関連施設の概要

施設名	施設内容	主なスポーツ・レクリエーション活動	所在地	年間利用人数 (平成21年度末)
文化会館	大・小ホール、大・中・小会議室、和室、視聴覚室、練習室1・2、展示室	ダンス、ヨガ、エアロビクスなど	早稲田5-4-1	201,194人
コミュニティセンター	ホール、図書室、和室、展示コーナー、集会室1・2、ボランティアビューロー	ダンス、ヨガなど	戸ヶ崎2-654	46,795人
世代交流館ふれあいパーク	交流サロン、和室、多目的室、土間コーナー、広場	ダンス、ヨガなど	彦成2-122-1	27,416人
瑞沼市民センター	体育室、運動場、多目的室、パソコン室、音楽室など	サッカー、バドミントン	上彦名870	86,810人
青少年ホーム	談話室、音楽室、和室、講習室、料理室	(なし)	谷口570	20,766人
北公民館	相談室、会議室、講座室、研修室、和室、調理室	ダンス、ヨガ、空手など	彦成3-7-19-101	32,216人
北児童館	相談室、遊戯室、図書室、集会室	卓球など	彦成3-7-19-301	16,257人
早稲田児童センター	体育館、会議室、和室、調理室、工作室、幼児室	スポーツチャンバラ、ミニソフトテニス	早稲田3-18-14	42,034人
南児童センター	体育館、集会室、幼児室、図書室、木工室	ミニソフトテニスなど	戸ヶ崎2-654	24,635人

資料：スポーツ推進課調べ

④ウオーキングルート・サイクリングロード

市内には、二郷半用水緑道や幸房用水緑道、三郷放水路桜のプロムナード、下第二大場川水辺の遊歩道、県営みさと公園などがあり、多くの市民に親しまれています。近年、ウオーキングを楽しむ市民が増え、これらの施設を利用する市民の姿が多く見られます。

また、平成21年6月から「すこやかみさとICウオーク」事業を開始しました。この事業は、専用のウオーキングコースを専用のICカードを持ってウオーキングし、その歩行履歴等を会員サイト上で管理・閲覧できるというものです。ウオーキングコースは、「におどり公園コース」、「桜のトンネル早稲田コース」、「みさと公園ファミリーコース」、「家族みんなでリフレッシュコース」の4コースが設定されています。

さらに、江戸川沿いには、土手を利用した全長約40km（三郷市～幸手市）片道約2時間のサイクリングロードが整備されています。南に下ると葛飾区のサイクリングロードに通じており、柴又帝釈天や矢切の渡し近くまでサイクリングすることも可能です。また、橋を渡り千葉県側のサイクリングロードを利用して、周遊することもできます。

■ 緑道、ウオーキングコース、サイクリングコース等 (平成21年度末)

施設名等		施設内容	場所	備考
二郷半用水緑道		緑道、あずまや、パーゴラ、トイレ	彦成～戸ヶ崎 約3.9km	
幸房用水緑道		緑道、パーゴラ、ベンチ	約0.9km	
三郷放水路桜のプロムナード		遊歩道、あずまや、ベンチ	約2.4km	
下第二大場川水辺の遊歩道		緑道、デッキ	約0.2km	
IC ウオーク	におどり公園コース	スタート・ゴール端末1基、 チェックポイント2基	約1.5km	
	桜のトンネル早稲田コース	スタート・ゴール端末1基、 チェックポイント2基	約2.5km	
	みさと公園ファミリーコース	スタート・ゴール端末1基、 チェックポイント2基	約1.8km	
	家族みんなでリフレッシュコース	スタート・ゴール端末1基、 チェックポイント2基	約2.0km	
江戸川サイクリング道路		サイクリング道路	三郷市～幸手市 約40km	
県営みさと公園		ジョギングコース、自然広場、 ちびっこ広場など	高州3丁目地内	県管理施設 都立水元公園と 隣接

資料：スポーツ推進課調べ

⑤民間のスポーツ施設

市内には、民間企業によるスポーツ施設や、企業が社員の福利厚生に利用するための施設、また競技愛好者が所有・管理する施設等が多数あります。

平成21年度末現在の主な施設は、ゴルフ練習場、スイミングスクール、テニスコート、野球場のほか、ゲートボール、ボウリング、フィットネス、エアロビクス、ジャズダンス、剣道、空手などが行える各種施設が設置されています。

これらの施設を利用して、多彩なスポーツを楽しむ多くの市民が見られます。

■ 主な民間スポーツ施設（平成21年度末）

種目・施設	施設数
ゴルフ練習場	4施設
スイミングスクール	4施設
テニスコート	7施設（17面）
野球場	3施設（46面）

資料：スポーツ推進課調べ

⑥近隣のスポーツ施設

埼玉県東南部地域5市1町（草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町）による公共施設の相互利用を行っています。施設の利用申し込みについては、「埼玉県東南部地域公共施設予約案内システム（まんまるよやく）」を使用して、利用したい施設の予約等を行うことができます。

(3) 生涯スポーツ関係団体の概要

①スポーツ振興審議会

本市のスポーツ振興について協議する組織として、15名（定数）の知識経験者などで構成されるスポーツ振興審議会が設置されています。

②体育指導委員連絡協議会

生涯スポーツの推進を積極的に取り組むため、30名（定数）の体育指導委員が活動しています。

体育指導委員で組織される体育指導委員連絡協議会では、市内の小学校を会場として、「巡回軽スポーツ教室事業」や「ニュースポーツ体験教室事業」などを開催するほか、「フローアゲートゴルフ大会」、「親子スケート教室」なども開催し、市民が気軽に楽しめるスポーツの場の提供などを行っています。

■ 体育指導委員連絡協議会開催のイベント等（平成21年度）

事業名	会場	対象	参加者数
巡回軽スポーツ教室 （スポーツ吹き矢・フリーフロー・ カローリング）	市内小学校6か所	市内に在住・在勤者	208人
ニュースポーツ体験教室 （ネットネットゲーム・なわとび、 ドッジボール・ならびっこベース ボール）	市内小学校6か所	市内に在住	477人
フローアゲートゴルフ大会	戸ヶ崎小学校	高齢者・身体障がい者	37人
親子スケート教室	茨城県ひたちなか市	親子	59人

資料：平成22年度「みさとの生涯スポーツ」

③体育協会

本市では、多くのスポーツ団体が活発に活動しています。その中で、三郷市体育協会に加盟している団体は、以下のとおりです。学校体育協会を除くと、野球連盟がチーム数、会員数ともに最も多くなっています。

また、体育協会では、各地区において「市民体育祭」を開催するほか、「みさとシティハーフマラソン」を開催しており、子どもから高齢者まで幅広い参加者が多数みられます。

■ 体育協会加盟団体 (平成21年度末)

No.	団体名	チーム数	会員数 (人)
1	野球連盟	61	1,034
2	ソフトボール協会	29	520
3	バレーボール連盟	27	405
4	学校体育協会	28 (校)	10,136
5	ソフトテニス連盟	5	131
6	卓球連盟	29	615
7	剣道連盟	6	178
8	陸上競技協会	27	318
9	少年野球連盟	28	489
10	ゲートボール連盟	9	73
11	テニス協会	17	800
12	バドミントン連盟	6	78
13	サッカー協会	13	821
14	空手道連盟	9	367
15	バスケットボール協会	19	371
合 計		285	16,336

資料：平成22年度「みさとの生涯スポーツ」

■ 体育協会開催のイベント等 (平成21年度)

事業名		会場	対象	参加者数
市民体育祭	高州・東町地区	高州小学校	一般	710人
	東和地区	鷹野小学校	一般	349人
	早稲田地区	前間小学校	一般	527人
	戸ヶ崎地区	戸ヶ崎小学校	一般	600人
	彦成地区	彦成小学校	一般	379人
	新三郷地区	桜小学校	一般	285人
みさとシティハーフマラソン		三郷市役所周辺	ファミリー・小学・中学・一般・シルバー	3,552人

資料：平成22年度「みさとの生涯スポーツ」

④レクリエーション協会

本市では、スポーツ・レクリエーション活動を楽しむ市民も多くみられます。その中で、三郷市レクリエーション協会に加盟している団体は、以下のとおりです。町会ソフトボール愛好会が会員数としては最も多くなっています。

レクリエーション協会では、「チャレンジスポーツ大会」や「加盟団体交流大会」なども開催しています。

■ レクリエーション協会加盟団体 (平成21年度末)

No.	団体名	チーム数	会員数 (人)
1	インディアカ協会	15	152
2	町会ソフトボール愛好会	26	450
3	レクリエーション研究会	1	8
4	町会バレーボール愛好会	11	80
5	グラウンド・ゴルフ協会	13	215
6	ペタンク協会	1	56
7	社交ダンス連盟	9	180
8	綱引連盟	12	160
9	ソフトバレーボール愛好会	19	185
10	ボウリング愛好会	1	144
11	バドミントン愛好会	11	78
12	フォークダンス連盟	7	140
13	ミニソフトテニス協会	13	175
14	軟式野球三郷親睦会リーグ	14	210
合 計		153	2,233

資料：平成22年度「みさとの生涯スポーツ」

■ レクリエーション協会開催のイベント等 (平成21年度)

事業名	会場	対象	参加者数
チャレンジスポーツ大会	総合体育館	県内に在住・在勤	1,513人
加盟団体交流大会 (ウオーキング)	松戸市戸定邸	加盟団体会員他	36人

資料：平成22年度「みさとの生涯スポーツ」

⑤スポーツ少年団

本市には、スポーツ少年団が設立されており、サッカーやバスケットボールなどの16の単位団が加盟しています。団員総数は735名、指導者総数は248名となっており、子どもたちのスポーツ活動を支える家族等の協力のもと、活発に活動しています。

また、全団交流のレクリエーション大会や駅伝大会などを開催し、各団体としての活動だけでなく、団体相互の交流も進めています。

■ スポーツ少年団 (平成21年度末)

No.	単位団名	団員数 (人)	指導者数 (人)
1	三郷市桜サッカー	49	20
2	三郷立花キッカーズ	72	12
3	南郷F C	74	35
4	ふくじゅ草	45	11
5	三郷少年柔道クラブ	53	5
6	三郷フットボールクラブジュニア	50	26
7	瑞沼サッカー	25	13
8	彦成フットボールクラブ	64	38
9	空手ジュニアクラブ	46	8
10	三郷エンジェルス	24	6
11	戸ヶ崎イレブン	58	22
12	早稲田つつみF C	54	27
13	三郷アドベンチャーズ	33	10
14	三郷あすなろ	24	6
15	三郷バスケットボールクラブ	31	7
16	ファインエアロビッククラブ	33	2
合 計		735	248

資料：平成22年度「みさとの生涯スポーツ」

■ スポーツ少年団開催のイベント等 (平成21年度)

事業名	会場	対象	参加者数
全団交流レクリエーション大会	総合体育館	スポーツ少年団関係者	594人
全団交流駅伝大会	みさと公園	スポーツ少年団登録団 及び招待チーム	590人
女子スポーツ振興大会 (少女ドッジボール交流会)	総合体育館	市内小学生女子及びその保護者等	325人

資料：平成22年度「みさとの生涯スポーツ」

⑥地区スポーツ推進委員会等

地域の住民が身近でスポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう、市内6地区に地区スポーツ推進委員会等が設置されています。地区スポーツ推進委員会等では、グラウンドゴルフ大会やウォーキング大会など、各地区でスポーツ活動を行っています。

■ 地区スポーツ推進委員会等

団体名	町会数	備考
高州・東町地区スポーツ推進委員会	11町会	
東和地区スポーツ委員会	17町会	
早稲田地区スポーツ推進委員会	19町会等	
戸ヶ崎地区スポーツ推進委員会	16町会	
彦成地区スポーツ推進委員会	20町会	
新三郷地区スポーツ推進委員会	13町会等	みさと団地・さつき平地区

資料：平成22年度「みさとの生涯スポーツ」

■ 地区スポーツ推進委員会等開催のイベント等（平成21年度）

団体名	事業内容等
高州・東町地区スポーツ推進委員会	グラウンドゴルフ、ソフトバレーボール、ソフトボール・卓球他
東和地区スポーツ委員会	グラウンドゴルフ・ソフトバレーボール・ペタンク
早稲田地区スポーツ推進委員会	グラウンドゴルフ、ウォーキング、室内軽スポーツ
戸ヶ崎地区スポーツ推進委員会	グラウンドゴルフ、ウォーキング、ボウリング
彦成地区スポーツ推進委員会	グラウンドゴルフ・ソフトバレーボール・ペタンク他
新三郷地区スポーツ推進委員会	グラウンドゴルフ、ウォーキング、バレーボール他

資料：平成22年度「みさとの生涯スポーツ」

⑦中学校運動部活動

市内の中学校における部活動の状況をみると、男女を合計するとソフトテニスの人数が最も多くなっています。また、各学校により部活動の種目は異なっていることがわかります。

■ 中学校運動部活動の概要（平成22年5月現在）

単位：人

中学校名		南	北	栄	彦成	彦糸	前川	早稲田	瑞穂	男女別合計	総合計
陸上競技	男子	20	15	29	-	15	11	30	16	136	239
	女子	16	9	11	-	19	4	29	15	103	
野球	男子	31	25	26	22	18	36	36	31	225	225
	女子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
バレーボール	男子	10	-	-	-	-	-	15	-	25	151
	女子	14	8	21	15	19	26	19	4	126	
サッカー	男子	59	26	38	23	36	33	50	28	293	294
	女子	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
バスケット	男子	29	-	30	21	9	24	30	26	169	307
	女子	-	24	17	14	17	22	19	25	138	
ソフトボール	男子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64
	女子	21	-	-	-	5	-	24	14	64	
ソフトテニス	男子	35	39	-	-	39	41	30	23	207	430
	女子	34	-	28	18	28	35	47	33	223	
卓球	男子	33	-	-	24	11	-	35	21	124	185
	女子	-	18	-	-	10	-	23	10	61	
剣道	男子	-	-	10	-	7	-	15	-	32	54
	女子	-	-	5	-	1	-	16	-	22	
柔道	男子	-	3	9	-	-	-	-	-	12	19
	女子	-	4	3	-	-	-	-	-	7	
ハンドボール	男子	-	17	-	-	-	-	33	-	50	76
	女子	-	12	-	-	-	-	14	-	26	
バドミントン	男子	5	22	28	-	-	-	-	-	55	166
	女子	43	34	34	-	-	-	-	-	111	
テニス	男子	-	-	-	-	-	-	44	-	44	85
	女子	-	-	-	-	-	-	41	-	41	
加入数	男子	222	147	170	90	135	145	318	145	1,372	2,295
	女子	128	109	119	47	99	87	232	102	923	
加入総数		350	256	289	137	234	232	550	247	-	-
生徒数	男子	328	174	200	113	140	176	392	170	1,693	3,313
	女子	279	176	175	92	144	181	349	224	1,620	
生徒総数		607	350	375	205	284	357	741	394	-	-

資料：学校基本調査

⑧高等学校部活動

市内には、三郷高等学校、三郷北高等学校、三郷工業技術高等学校、三郷特別支援学校高等部の4つの県立高等学校があります。

これらの高等学校には、市内中学出身者が多く通学しており、今後も市内中学校との連携と交流を強化し、一貫した競技活動の継続を促進するとともに、高等学校部活動の活性化に向けての支援を検討する必要があります。

■高等学校運動部活動状況

高等学校名	運動部
三郷高等学校	野球、陸上競技、サッカー、テニス、バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、剣道、柔道
三郷北高等学校	野球、陸上競技、弓道、剣道、サッカー、バドミントン、卓球(男・女)、ハンドボール、バレーボール(男・女)、バスケットボール(男・女)、ソフトテニス、硬式テニス(男)
三郷工業技術高等学校	陸上競技、サッカー、ラグビー、バドミントン、硬式テニス、卓球、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、柔道、剣道、山岳、野球
三郷特別支援学校	陸上、球技など

資料：スポーツ推進課調べ

(4) スポーツイベント・教室等の概要

市では、スポーツ・レクリエーション活動に親しみながら健康増進が図れるよう、各種大会や教室を多数開催しています。また、スポーツ推進課では、障がい者や外国人を対象としたスポーツイベントも開催しています。

■ スポーツ推進課の主なスポーツイベント・教室等（平成21年度）

イベント名	会場等	対象	参加者数	備考
ニューミックステニス三郷大会	総合体育館	障がい者と健常者	41人	
外国人と楽しむスポーツ交流会	総合体育館	外国人と一般	91人	
アクアビクス教室（6回コース）	市内施設	16歳以上	40人	
障がい者スポーツ・レクリエーション交流会	総合体育館	障がい者（家族・介護者等含む）、障がい者の援護活動に関心のある方	43人	
チャレンジ講座『自転車で田舎へ行こう』	総合体育館	おおむね50歳以上の方	137人	9回
スポーツ・チャンバラ	総合体育館	どなたでも可	109人	10回
中学生バレーボール教室	総合体育館	中学生	112人	1回
テニスコート一般開放	総合体育館	一般	385人	2回
わいわい個人開放（卓球・バドミントン・ミニソフトテニス）	総合体育館	どなたでも可	222人	30回
こども無料開放（卓球・バドミントン）	総合体育館	高校生以下と家族	172人	3回
おでかけ！こども無料開放（卓球・バドミントン・ミニソフトテニス）	総合体育館	高校生以下と家族	75人	3回
おでかけ！ジュニアミニソフトテニス教室	総合体育館	小学生	79人	6回
おでかけ！ミニソフトテニス交流会	総合体育館	どなたでも可	23人	1回
夜のフィットネス体操	総合体育館	一般	637人	25回
フィットネス体操	総合体育館	一般	2,419人	46回
フィットネス・ヨガ	総合体育館	一般	2,024人	34回
魅惑のベリーダンス	総合体育館	16歳以上の方	193人	10回
美容呼吸法	総合体育館	16歳以上の方	121人	12回
ワンコイン・エクササイズ	総合体育館	16歳以上の方	106人	6回
腹式呼吸でスポーツ吹き矢	総合体育館	一般	17人	2回
武道体験教室 こども空手体験教室	総合体育館	小・中学生	15人	1回
シルバー体力テスト	総合体育館	65～79歳	14人	1回

イベント名	会場等	対象	参加者数	備考
ふれあいスポーツ交流会～フットサル交流会～	総合体育館	社会人男子 フットサルチーム	178人	2回
体験スポーツ①大人のためのミニソフトテニス教室	総合体育館	高校生以上	69人	6回
体験スポーツ4「バトミントン初級講座」	総合体育館	一般	57人	5回
ジュニア新体操～目指せオリンピック～	総合体育館	未就学児童	393人	40回
ちびっこバレエ教室	総合体育館	4～5歳児	187人	10回
中澤佑二サッカースクール NAKAZAWA SC①	総合体育館	小学低学年	645人	47回
中澤佑二サッカースクール NAKAZAWA SC②	総合体育館	小学低学年	356人	47回
中澤佑二サッカースクール NAKAZAWA SC③	総合体育館	小学高学年	1,153人	47回
中澤佑二サッカースクール NAKAZAWA SC④	総合体育館	小学高学年	843人	47回
リズムに乗って！キッズダンス	総合体育館	小学生	132人	10回
三郷スポーツチャンバラ大会	総合体育館	一般	95人	1回
体験スポーツ「ホップステップウォーキング」	総合体育館	一般	51人	1回
シルバー体カテスト	総合体育館	65～79歳	14人	1回
新体カテスト	総合体育館	20～64歳	36人	1回
ジュニアバレーボール教室	総合体育館	市内小学生	301人	4回
水曜の健康トレーニング	総合体育館	一般	483人	52回
ワンポイントアドバイス ダンベル講座	総合体育館	一般	10人	12回
パーソナル・トレーニング	総合体育館	トレーニングカードをお持ちの方 (指導員可能時間)	387人	
女性の為のシェイプアップ トレーニング講座	総合体育館	一般	15人	1回
障がい者スポーツ教室	総合体育館	障がい者	184人	5回
SOTAIミニソフトテニス大会	総合体育館	一般	62人	1回
スポーツフェアinみさと2009	総合体育館	一般	380人	3回
サークル支援事業 みんな集まれ！こどもチャレンジスポーツ体験会	総合体育館	青少年を育成する 定期団体	347人	2回
第1回三郷MIXバレーボール大会	総合体育館	男女混合6人制バレーボールチーム	270人	1回

資料：スポーツ推進課

■ その他の主な関連イベント・教室等（平成21年度）

イベント名	会場等	対 象	参加者数	備考
すこやかみさと I C ウオーク in misato style 2009	におどり公園 コース	I C ウオークに 興味のあるかた	(23人)	健康推進課 ()内新規登録者
すこやかみさと I C ウオーク 推進委員会設立記念「健康講演 会」	高州地区文化 センター みさと公園ファ ミリーコース	I C ウオークに 興味のあるかた	66人 (21人)	健康推進課 ()内新規登録者
ピラシティコースオープン イベント	家族みんなで リフレッシュ コース	I C ウオークに 興味のあるかた	34人 (14人)	健康推進課 ()内新規登録者
すこやかみさと I C ウオーク ビギナーズイベント	文化会館 桜のトンネル 早稲田コース	I C ウオークに 興味のあるかた	61人 (21人)	健康推進課 ()内新規登録者
地域の健康づくり事業（ラジオ 体操等）	市内	一般	6,949人	健康推進課
シルバー元気塾	総合体育館他 8会場 18コ ース	概ね60歳以上	21,516人	シルバー元気塾推進課
シルバー元気塾ゆうゆうコ ース（岩野木、彦沢、戸ヶ崎）	老人センター 3会場 3コ ース	60歳以上	1,382人	シルバー元気塾推進課
チャレンジ講座「自転車でお持ち の50歳以上」	三郷市近郊	自転車をお持ち の50歳以上	137人	生涯学習課 総合体育館
市民企画講座「はじめてのピラ ティス」	瑞沼市民セン ター	一般	107人	生涯学習課
サークル体験講座「ヨガ」	北公民館	女性	13人	生涯学習課 (北公民館)
サークル体験講座「リズム体 操」	北公民館	60歳以上	16人	生涯学習課 (北公民館)
ふるさと健康ウォーキング	三郷～草加宿	16歳以上	25人	生涯学習課 (北公民館)
はじめてのウォーキングコ ース	北公民館・三郷 団地	16歳以上	41人	生涯学習課 (北公民館)
たのしい健康ウォーキング教 室	北公民館・市 内・近郊	16歳以上	179人	生涯学習課 (北公民館)

資料：スポーツ推進課

(5) その他

①スポーツ競技大会出場選手奨励支援

本市では、競技スポーツ活動の支援を進めており、国際大会及び全国大会出場選手に対して、財政的支援を行っています。平成21年度には、13種目、37件、延べ141名の選手に奨励金を交付しました。

②広報活動

体育協会やレクリエーション協会、スポーツ少年団の情報紙の発行等に関する支援を行っています。また、体育施設の利用やスポーツイベント等の情報提供については、「広報みさと」や「生涯学習事業案内 できるゾウガイド」、市のホームページ等を活用して行っています。

■ 三郷市スポーツ競技大会出場選手奨励金交付状況（平成15年度以降）－ 国際大会

年度	大会名	種目	成績
平成15年度	冬季欧州選手権大会 (ベルギー国際大会)	柔道 男子66kg級	5位
平成18年度	第15回アジア競技大会	陸上 女子100m	6位
		陸上 女子4×100mリレー	2位
平成19年度	第17回アジア陸上競技選手権大会	陸上 女子4×100mリレー	2位
	第24回ユニバーシアード競技大会	陸上 女子100m	2次予選敗退
		陸上 女子200m	準決勝敗退
	第11回世界陸上大阪大会	陸上 女子100m	予選敗退
陸上 女子4×100mリレー		予選敗退	
	フリースタイルスキー クロスワールドカップ	フリースタイルスキー 男子	ワールドカップ 64位 海外大会15位(最高)
平成20年度	世界サブジュニア・パワーリフティング選手権大会	パワーリフティング 女子60kg級	6位
平成21年度	国際グランプリ陸上大阪大会	陸上 女子100m	3位
		陸上 女子4×100mリレー	1位 (日本新)
	第25回ユニバーシアード競技大会	陸上 女子100m	2位
	第12回世界陸上ベルリン大会	陸上 女子100m	予選敗退
陸上 女子200m		予選敗退	
陸上 女子4×100mリレー		予選敗退	

資料：スポーツ推進課

■ 三郷市スポーツ競技大会出場選手奨励金交付状況（平成15年度以降）－ 国内大会（抜粋）

年度	大会名	種目	成績
平成15年度	全日本中学校陸上競技選手権大会	陸上 女子200m	優勝
		陸上 女子100m	3位
		陸上 走り高跳び	5位
	全国JOCジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会	水泳 女子50m自由形	4位
	ジュニアオリンピック陸上競技大会	陸上 女子走り高跳び	2位
	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会	柔道 男子66kg級	優勝
	国民体育大会	陸上 女子200m 陸上 女子4×100mリレー	4位 8位
第3回全国障害者スポーツ大会	ボウリング 少年男子3組	2位	
	ボウリング 少年女子1組 フライングディスク 男子30組 フライングディスク 女子8組	4位 1位 1位	
全国高等学校空手道選手権大会	空手道 女子個人形	1位	
平成16年度	第25回全日本クラブ女子ソフトボール 選手権大会	ソフトボール クラブ女子	3位
	第1回全国小学生学年別柔道大会	柔道 小学6年生男子45kg超級	3位
	全国選抜リトルリーグ野球大会	野球 リトルリーグ	8位
	第4回全国障害者スポーツ大会	フライングディスク 女子3組	2位
		ボウリング 男子 少年1組	3位
		陸上 男子400m14組	3位
フライングディスク 男子4組 ボウリング 女子 少年		1位 2位	
第4回全日本少年少女空手道選手権大会	空手道 小学5年生男子形	3位	
第56回国民体育大会	サッカー 少年男子（高校）	3位	
平成17年度	第32回全日本中学校陸上競技選手権大会	陸上 男子棒高跳び	7位
	第21回全国小学生陸上競技交流大会	陸上 女子5年100m	8位
	第36回全国中学校柔道大会	柔道 女子団体戦	3位
	第5回全国障害者スポーツ大会	陸上 少年男子200m3018組	2位
フライングディスク 女子D2組		1位	
平成18年度	第22回全国小学生陸上競技交流大会	陸上 男子4×100mリレー	6位
	第33回全国中学生テニス選手権大会	テニス 女子シングルス	8位
	第37回全国中学校柔道大会	柔道 女子52kg級	2位
	第3回全国小学生学年別柔道大会	柔道 小学5年生男子40kg超級	2位
	第61回国民体育大会	硬式テニス 少年女子	7位
	第6回全国障害者スポーツ大会	陸上 少年男子200m3011組	1位
	春の全国中学生ハンドボール大会	ハンドボール 女子	2位
	第30回全国高等学校ハンドボール選抜大会	ハンドボール 女子	8位
	第6回全国少年少女空手道選手権大会	空手道 小学6年生女子形	5位

年度	大会名	種目	成績
平成19年度	第56回全国高等学校柔道大会	柔道 男子団体戦	2位
	第38回全国中学校柔道大会	柔道 男子90kg超級	3位
	第7回全国障害者スポーツ大会	フライングディスク 男子	1位
		フライングディスク 男子	2位
		フライングディスク 女子	1位
		卓球	1位
	第6回日本バドミントンジュニアグランプリ2007	バドミントン 都道府県対抗団体戦	3位
	第62回国民体育大会	ハンドボール 少年男子	5位
	JOCジュニアオリンピックハンドボール大会	ハンドボール 女子	8位
	第3回春の全国中学生ハンドボール大会	ハンドボール 女子	8位
ハンドボール 男子		3位	
第30回全国高等学校柔道選手権大会	柔道 団体戦	3位	
第2回全国中学生空手道選手権大会	空手道 1年女子組手	3位	
平成20年度	第21回全国小学生ハンドボール大会	ハンドボール 男子	8位
	第8回全国障害者スポーツ大会	フライングディスク 男子	4位
		フライングディスク 男子	2位
		フライングディスク 女子	2位
	第37回全国中学校ハンドボール大会	ハンドボール 女子	3位
	全国高等学校選抜少林寺拳法大会	少林寺拳法 女子初段	8位
	全国高等学校少林寺拳法大会	少林寺拳法 女子2段	5位
		少林寺拳法 女子2段	5位
		少林寺拳法 女子2段	8位
	第92回日本陸上競技選手権大会	陸上 女子100m	4位
	第77回日本学生陸上競技対抗選手権大会	陸上 女子100m	1位
	第63回国民体育大会	陸上 成人女子200m	1位
	第17回JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会	ハンドボール 女子	3位
第22回全国都道府県対抗中学バレーボール大会	バレーボール 男子	3位	
はまなす杯第3回全国中学生空手道選抜大会	空手道 中学2年女子形	8位	
平成21年度	第62回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	陸上 男子4×400mリレー	1位
		陸上 男子4×100mリレー	4位
	第9回全国障害者スポーツ大会	卓球 女子	1位
		フライングディスク 女子	2位
第14回全日本女子相撲選手権大会	相撲 女子中学生軽量級	3位	

資料:スポーツ推進課 (国内大会ベスト8を抜粋)

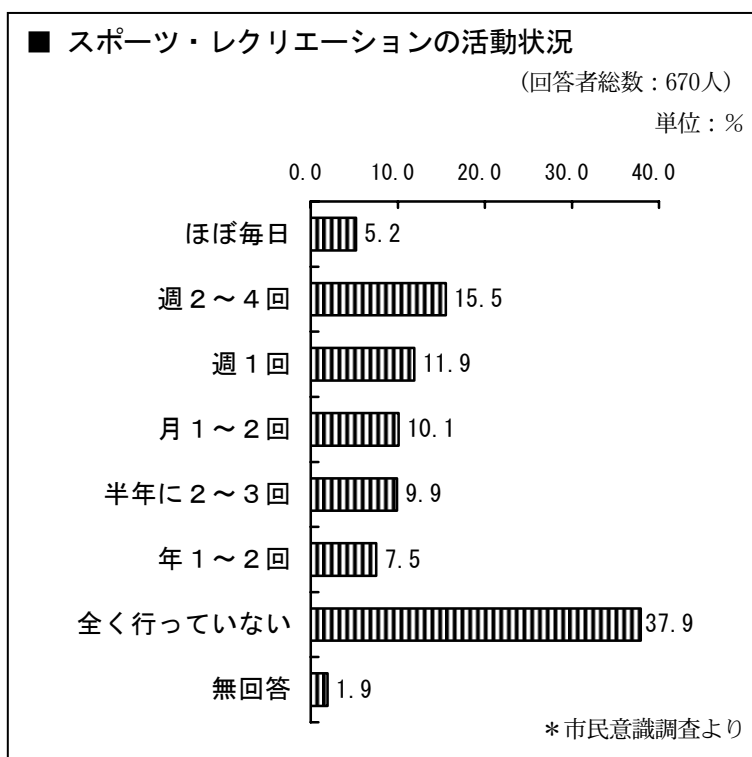
2. 市民のスポーツ活動の実態と要望

本計画の策定にあたって、市民のスポーツ活動の実態と要望を把握するため、アンケートによる調査を実施しました。調査は、18歳以上の一般市民を対象とした市民意識調査、及びスポーツ・レクリエーション団体を対象とした団体調査、市内小学5年生と中学2年生を対象とした小中学生調査の3種類を行いました。

(1) スポーツ活動の状況

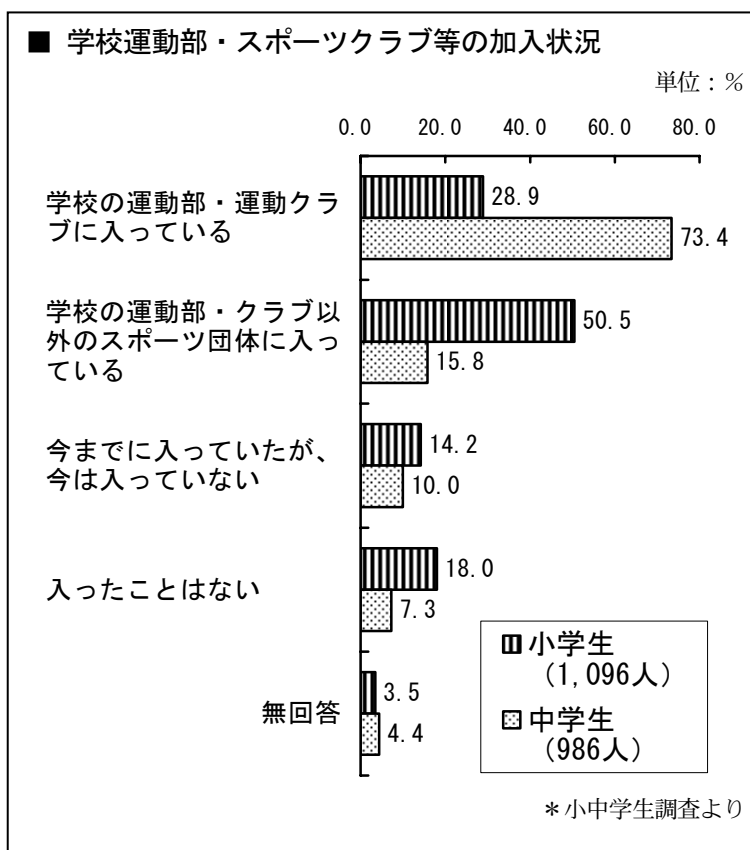
約3割の人が週1回以上、スポーツやレクリエーションを行っています。

日頃、スポーツやレクリエーション活動を行っているかを市民意識調査結果で見ると、「ほぼ毎日」が5.2%、「週2～4回」が15.5%となっています。また、「週1回」という割合は11.9%で、これらを合わせると32.6%となり、週1回以上行っている人の割合は約3割となります。一方、「全く行っていない」という割合は37.9%で約4割です。



小学5年生の約5割がスポーツ団体に、中学2年生の約7割が学校運動部に所属しています。

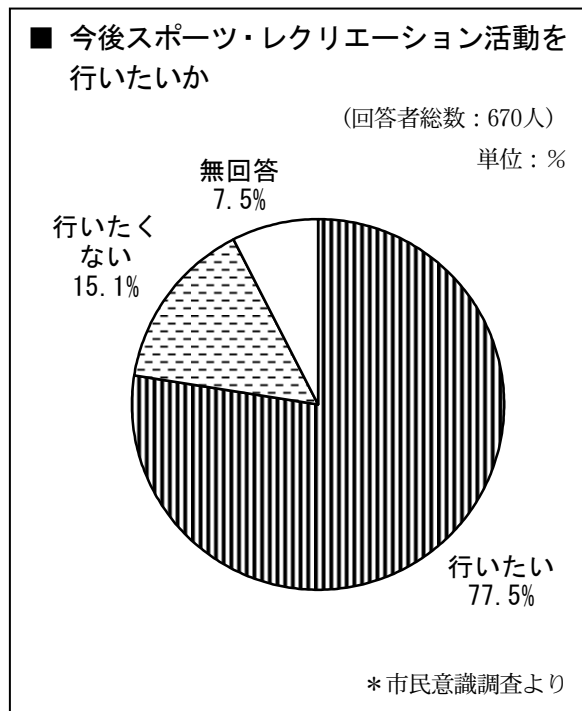
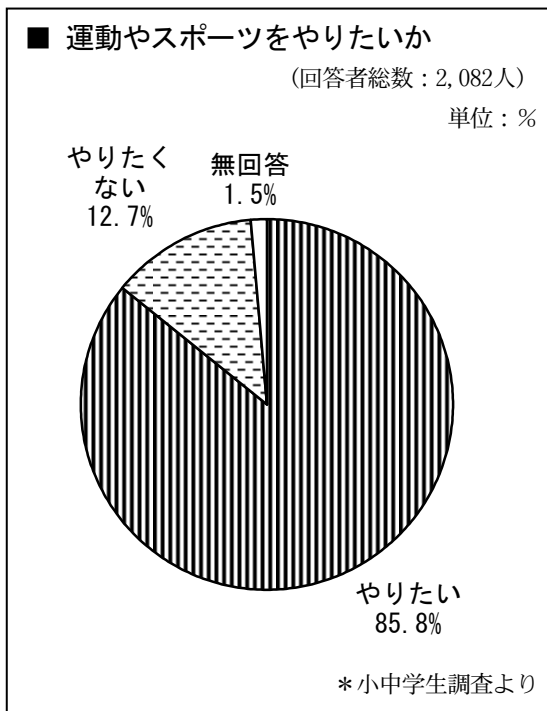
小中学生のスポーツ活動状況をみると、小学5年生の50.5%が「学校の運動クラブ以外のスポーツ団体に入っている」としています。また、中学2年生では73.4%が「学校の運動部に入っている」と回答しており、スポーツを行っている児童・生徒の割合が多くなっています。



(2) スポーツ活動に対する今後の意向

スポーツをしたいという意向は高くなっています。

小中学生調査では、今後、運動やスポーツをやりたいという割合は、85.8%で圧倒的に多くなっています。また、市民意識調査でも、スポーツ・レクリエーション活動を行いたいという割合が77.5%となっており、約8割を占めています。子どもから大人まで、スポーツをしたいという意向が高まっています。



男子児童・生徒ではサッカーや野球、テニスなど、
女子児童・生徒では水泳やバドミントン、テニスなどが人気がある

小中学生調査では、男子児童・生徒の続けたいスポーツのトップは「サッカー」、女子児童・生徒のトップは「水泳」となっています。新しくやりたいスポーツでは、男子児童・生徒では「テニス」、女子児童・生徒では「バドミントン」がトップになっています。

■ やりたいスポーツ・レクリエーション活動の内容（男女別上位）

（回答者総数 男性：974人、女性：812人）

項目	今後も続けたいスポーツ		新しくやりたいスポーツ	
	男子児童・生徒	女子児童・生徒	男子児童・生徒	女子児童・生徒
第1位	サッカー (25.6%)	水泳 (18.7%)	テニス (18.0%)	バドミントン (28.1%)
第2位	野球 (20.8%)	バスケットボール (14.5%)	野球 (15.9%)	テニス (26.2%)
第3位	水泳 (16.6%)	テニス (14.2%)	卓球 (15.1%)	バスケットボール (23.2%)

*小中学生調査より

男女ともに、「ウォーキング・ジョギング」が人気

市民意識調査で、今後やりたいスポーツ・レクリエーション活動の内容を男女別にみると、男性では「ウォーキング・ジョギング」が最も多く、女性では「ヨガ」と「ウォーキング・ジョギング」が多くなっています。

■ 今後やりたいスポーツ・レクリエーション活動の内容（男女別上位）

（回答者総数 男性：239人、女性：279人）

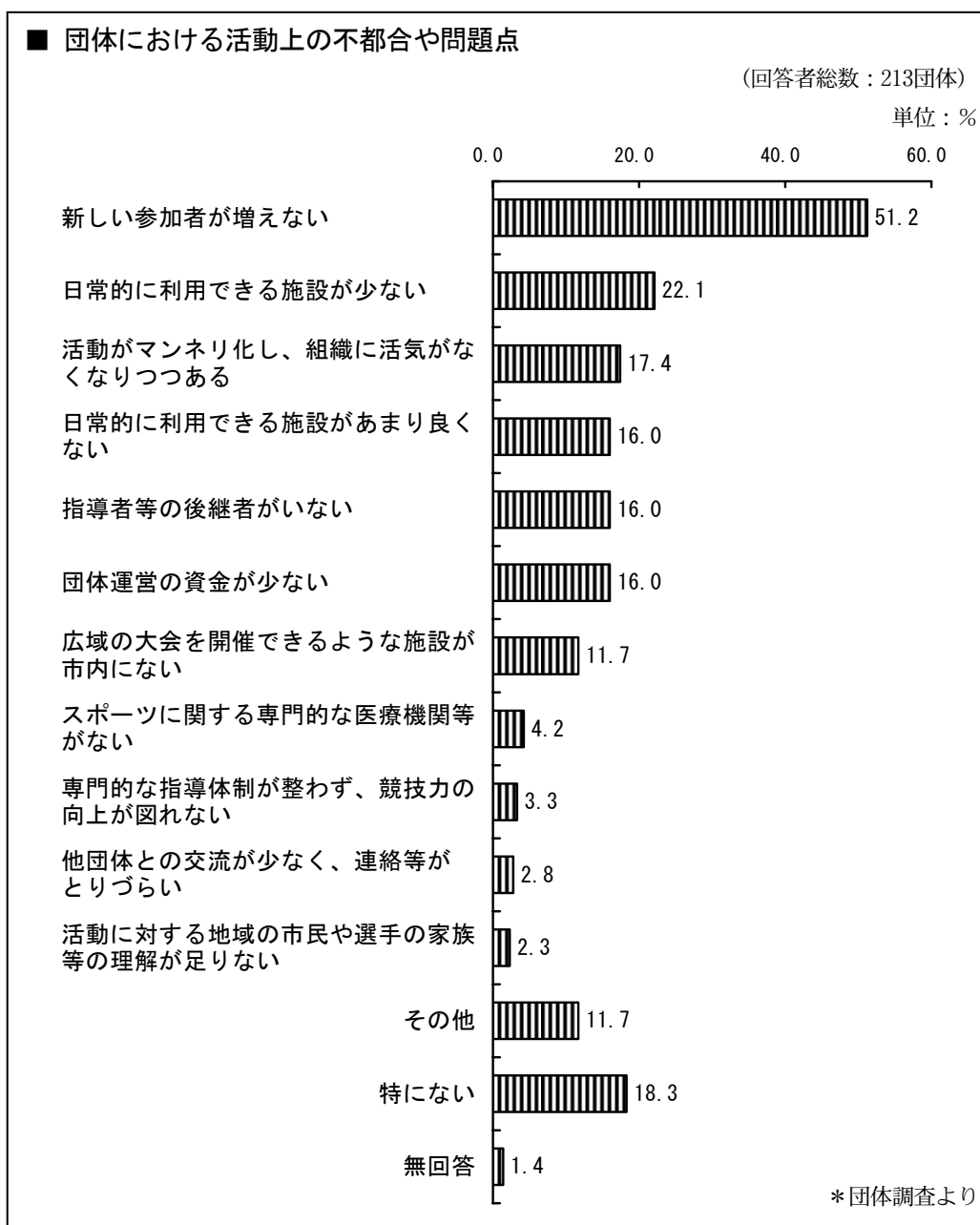
項目	男性	女性
第1位	ウォーキング・ジョギング (37.7%)	ヨガ (41.9%)
第2位	水泳 (22.6%)	ウォーキング・ジョギング (40.1%)
第3位	ゴルフ (20.9%)	水泳 (34.4%)
第4位	ボウリング (17.6%)	太極拳 (12.9%)
第5位	サイクリング (15.9%)	ボウリング (11.5%)

*市民意識調査より

(3) 団体における活動上の問題点

参加者が増えないことを問題点にあげる団体が多くなっています。

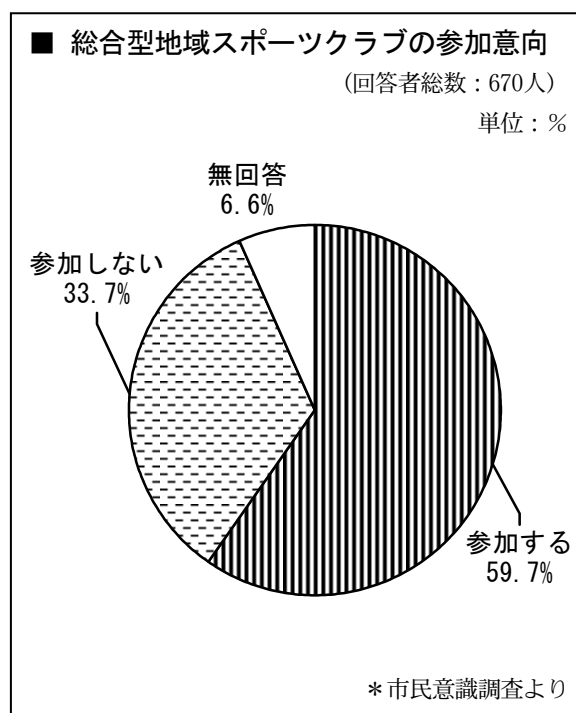
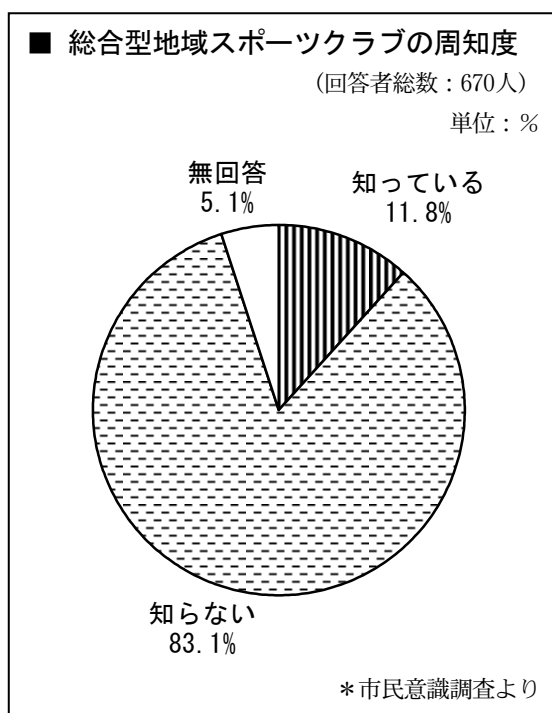
スポーツ・レクリエーション団体に、活動しているなかでの不都合や問題点をたずねたところ、「新しい参加者が増えない」が51.5%となっており、約半数の団体が参加者が増えないことを問題にあげています。次いで、「日常的に利用できる施設が少ない」が22.1%となっています。



(4) 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブを知らない人が多くなっていますが、参加したいという割合は約6割です。

総合型地域スポーツクラブについて、「知っている」という割合は11.8%にとどまり、「知らない」は83.1%と多くなっています。しかし、身近に総合型地域スポーツクラブが設立されたら「参加する」という割合は59.7%で約6割を占めています。



総合型地域スポーツクラブとは…

人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる、新しいタイプのスポーツクラブです。
子どもから高齢者まで（**多世代**）、
様々なスポーツを愛好する人々が（**多種目**）、
初心者からトップレベルまで、
それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（**多志向**）、
という特徴を持ち、
地域住民により自主的・主体的に、運営されるスポーツクラブをいいます。

総合型地域スポーツクラブでやってみたいスポーツとしては、「ウォーキング・ジョギング」や「水泳」、「ヨガ」などが多くあげられていました。また、妥当な年間会費の額については、「1,000円～5,000円」が50.0%、「5,000円～10,000円」が25.7%でした。

3. 国や県の動向

(1) 国のスポーツ振興基本計画

国では、平成11年に改正されたスポーツ振興法に基づき、平成12年に「スポーツ振興基本計画」を策定しました。この計画が、策定から5年が経過したことに伴い、平成18年9月に計画を改定しました。計画の概要は、以下のようになっています。

■ 国のスポーツ振興基本計画（平成18年9月改定）の概要

項目	内容
名称	スポーツ振興基本計画
計画期間	平成13年度～平成22年度（概ね10年間）
主要課題と政策目標	<p>1. スポーツの振興を通じた子どもの体力の向上方策 【政策目標】 人間が発達・成長し、創造的な活動を行っていくために必要不可欠なものであり、「人間力」の重要な要素である子どもの体力について、スポーツの振興を通じ、その低下傾向に歯止めをかけ、上方傾向に転ずることを目指す。</p> <p>2. 生涯スポーツ社会の実現に向けた、地域におけるスポーツ環境の整備充実 【政策目標】 (1) 国民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現する。 (2) その目標として、できるかぎり早期に、成人の週1回以上のスポーツ実施率が2人に1人（50%）となることを目指す。</p> <p>3. 我が国の国際競技力の総合的な向上方策 【政策目標】 (1) オリンピック競技大会をはじめとする国際競技大会における我が国のトップレベルの競技者の活躍は、国民に夢や感動を与え、明るく活力ある社会の形成に寄与することから、こうした大会で活躍できる競技者の育成・強化を積極的に推進する。 (2) 具体的には、1996年（平成8年）のアトランタ夏季オリンピック協議会において我が国のメダル獲得率が1.7%まで低下したことを踏まえ、我が国のトップレベルの競技者の育成・強化のための諸施策を総合的・計画的に推進し、早期にメダル獲得率が倍増し、夏季・冬季合わせて3.5%となることを目指す。</p>

(2) 埼玉県スポーツ振興計画

埼玉県は、国のスポーツ振興基本計画に先がけて平成11年3月に「埼玉県スポーツ振興計画（彩の国スポーツプラン2010）」を策定しました。平成16年までの前期計画終了に伴い、平成18年に計画の改訂を行いました。計画の概要は、以下のようになっています。

■ 埼玉県のスポーツ振興計画（平成18年改訂）の概要

項目	内容
名称	彩の国スポーツプラン2010
計画期間	平成11年度～平成22年度（12年間）、目標年は平成23年3月
計画の基本理念	スポーツ いきいき 彩の国 ースポーツとの多様なかかわりを通じた喜びと自己実現の追求ー
計画全体の数値目標	20歳以上の県民のうち55%が週1回以上スポーツを行うことを目指します。
計画の目標	1 「する」ための環境づくり 2 「みる」ための環境づくり 3 「きわめる」ための環境づくり 4 「まなぶ」ための環境づくり 5 「ささえる」ための環境づくり 6 「スポーツの基盤」
重点施策	○総合型地域スポーツクラブ（ふあいぶるクラブ）の育成 ○国内外のトップレベルのスポーツ大会の招致・開催 ○競技力の向上及び体力・健康増進を図るトレーニング機能の充実・連携 ○地域の特性を生かした学校体育・スポーツ活動の充実 ○さいたまスポーツサポートシステムの構築 ○スポーツ医・科学機能の活用・整備 ○スポーツ情報ネットワークの整備 ○中核施設・専用競技場の整備、管理運営の充実

4. 三郷市のスポーツ環境の特徴と課題

① 市内各地に多くのスポーツ施設が立地している

本市は、総合体育館をはじめ、市内各地に体育館や運動公園などが数多く整備されています。また、市内小・中学校では学校体育施設の開放も盛んに行われており、身近なスポーツ施設を利用する環境が整備されています。

しかし一方で、スポーツ施設の維持・管理の負担が大きくなっており、今後は、市民と連携し、効率的な施設の維持・管理について検討する必要があります。

さらに、スポーツ団体等では、利用したい曜日や時間帯などが集中する場合、施設の予約が取りにくいこともあり、そのため日常的に利用できる施設が少ないという意見もみられます。

施設が有効活用されるよう、今後も利用者・利用団体の意見やアイデアを取り入れながら、予約方法等の検討を進めていくことが必要です。

② 輝かしいスポーツの歴史と伝統がある

本市は、これまで多くのトップアスリートを輩出してきた歴史があり、オリンピックで金メダリストを獲得したアスリートが在住し、市のスポーツ振興に活躍しています。また、平成16年に開催された「彩の国まごころ国体」や平成20年の「全国高等学校総合体育大会」においてはハンドボール競技を開催するなど、地域性のある競技スポーツの振興に力を入れています。

さらに、本市では、スポーツ選手を支援し、競技力を向上させるため、「スポーツ競技大会出場選手奨励支援事業」を実施しており、国際大会や全国大会に出場する選手に奨励金を支給しています。

今後も、市民へのPR活動を積極的に行い、スポーツ選手の支援を一層進める必要があります。また、競技スポーツ団体への支援を行うとともに、学校運動部との連携を強化していくことも重要です。

③ 生涯スポーツの振興に努めている

本市は、江戸川や中小河川沿いの遊歩道や県営みさと公園など、ウォーキングの環境が優れており、ウォーキングを促進する事業も多数実施しています。健康志向の高まりなどにより「ウォーキング」は最も人気の高いスポーツの一つといえます。

今後も、ICウォークをはじめとしたウォーキング関連事業のPRなどを進め、市民ニーズに対応した事業をより一層充実することが重要です。

市民意識調査によると、現在週1回以上スポーツ・レクリエーション活動をしている人は約3割となっていますが、今後やりたいという人は約8割となっています。今後も、各団体の活動支援を行うとともに、だれもが気軽に楽しめるニュー・スポーツの普及など、市民がスポーツに親しめる機会を拡充していく必要があります。

④ 障がい者・女性・外国人などのスポーツ活動支援に積極的に取り組んでいる

本市では、障がい者・女性・外国人対象の事業を開催するなど、幅広いスポーツ活動支援に取り組んでいます。しかし、施設面では、障がい者用トイレやスロープの設置などをはじめとしたバリアフリー化が進んでいない施設もあることから、誰もが利用しやすい施設となるよう整備を進めていくことが必要です。

⑤ 高まる市民のスポーツニーズ

市民意識調査の結果からも、今後も、スポーツをやりたいと思う市民が多くなっています。しかし、スポーツイベント等の参加度や認知度が低くなっているほか、既存の団体では新規会員の伸び悩みなどの課題があります。

今後は、スポーツ人口の底辺拡大のために、身体状況に合わせたメニューや託児付き事業など、ニーズに即した事業方法などを再検討するとともに、スポーツ活動の場（組織）についての情報提供などをより一層進める必要があります。

また、総合型地域スポーツクラブについては、市民の認知度は低いものの、参加したいという意向は高くなっています。近年、県内でも設立が進んでいることから、先進事例の研究などを行いながら、積極的に設立促進を図ることが重要です。

⑥ 高規格の競技施設・拠点施設の整備が望まれている

本市は、体育館やグラウンドなど多彩なスポーツ施設が整備されており、多くの市民に活用されていますが、スポーツ拠点としての施設や公式競技が行えるスポーツ施設が乏しいという現状もあります。そのため、より多くの市民が集うことができ、また、より高度なスポーツ活動ができる施設を利用したいという意向がみられます。

今後は、市のスポーツ振興の全体的なレベルアップのための拠点施設整備について、公式競技が行える高規格の競技施設の整備を検討していく必要があります。

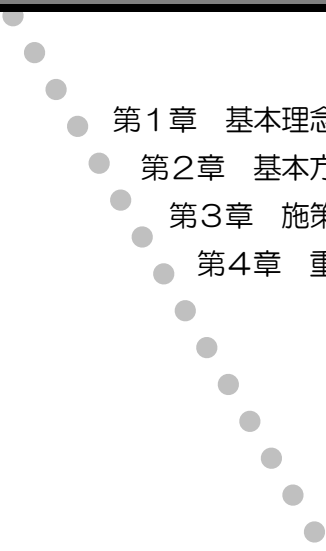
⑦ スポーツ・レクリエーション関係団体の組織体制整備

スポーツ・レクリエーション活動をさらに普及・振興するうえで、各種団体の組織体制の整備が求められています。

そこで、組織体制について、さまざまな視点から検討していく必要があります。



第2編 スポーツ振興の基本的考え方



第1章 基本理念	39
第2章 基本方針	40
第3章 施策体系	42
第4章 重点施策	44

第2編 スポーツ振興の基本的考え方

第1章 基本理念

スポーツをとおして健全な心と体をつくり、また、スポーツをとおして仲間をつくり、友情の輪を広げ、豊かな明るいまちづくりを進めていきます。また、自立都市、活力都市、交流都市といった本市の都市像を、スポーツ振興を通じて実現していきます。

さらに、三郷市スポーツ健康都市宣言及び本市のスポーツ環境の特徴と課題を踏まえ、本計画の基本理念を

基本理念

スポーツで交流し、活力あるまちづくり

とし、本計画のタイトルを、

三郷市スポーツ振興基本計画
— 三郷市スポーツ地域力アップ計画 —

とします。

第2章 基本方針

まず参加!! 「スポーツをしよう!!」

スポーツで地域を明るくしよう!!

スポーツで協働のまちづくり!!

基本方針1 交流

スポーツによる市民「交流・健康づくり」の推進を図ります。

これまでも地域や市民の交流を大切にしたスポーツ・レクリエーション活動を推進してきました。近年は、健康のために、身近なところで適度なスポーツをしたいという意向も高まっています。スポーツをすることを支援し、多くの市民がスポーツにしたしむことができるまちづくりを進めます。

基本方針2 活力

スポーツによる地域の「活力」づくりを図ります。

スポーツの高い技術やひたむきに競技する姿にふれることは、見る人の精神を高揚させ、活気づけるものです。スポーツをたかめる、みることは市民に活力を与えます。また、交通の利便性を活かし、スポーツを通じた活力あるまちづくりを進めます。

基本方針3 地域力

スポーツによる「地域力」のアップを図ります。

地域力とは、市民が自ら地域の課題を掘り下げ、その解決に向けた主体的な学習・実践活動に結び付けていく力であり、すなわち自治・自立の理念に基づく地域の底力です。市民の力で子どもから大人まで幅広いスポーツ活動をささえ、スポーツではぐくみ、地域力のアップを図ります。

《 本計画の基本的な考え方 》

○三郷市スポーツ健康都市宣言

わたくしたち三郷市民は、スポーツを**愛し**、スポーツに**親しみ**、健康で住みよい**郷土をつくる**ため、ここにスポーツ健康都市を宣言します。

- 1 スポーツをとおり、**健全な心と体**をつくりましょう
- 1 スポーツをとおり、**仲間**をつくり、友情の輪をひろめましょう
- 1 スポーツをとおり、豊かな明るい**まちづくり**をすすめましょう

○国のスポーツ振興計画 (2006年改訂)

- ・子どもの体力向上
- ・生涯スポーツ社会の実現
- ・国際競技力の向上

○埼玉県スポーツ振興計画 (2006年改訂)

- 「彩の国 スポーツプラン」
- ・スポーツ いきいき 彩の国ー
 - スポーツとの多様なかかわりを通じた喜びと自己実現の追及ー
 - 「する」「みる」「きわめる」
 - 「まなぶ」「ささえる」

○第4次三郷市総合計画

- 「きらりとひかる
田園都市みさと」
- ・自立都市
 - ・活力都市
 - ・交流都市

三郷市のスポーツ環境の特徴と課題

基本理念 「スポーツで交流し、活力あるまちづくり」

ー三郷市スポーツ地域力アップ計画ー

基本方針 1 交流

スポーツによる市民
「交流・健康づくり」
の推進

スポーツを**する**
スポーツに**したしむ**

基本方針 2 活力

スポーツによる地域の
「活力」づくり

スポーツを**たかめる**
スポーツを**みる**

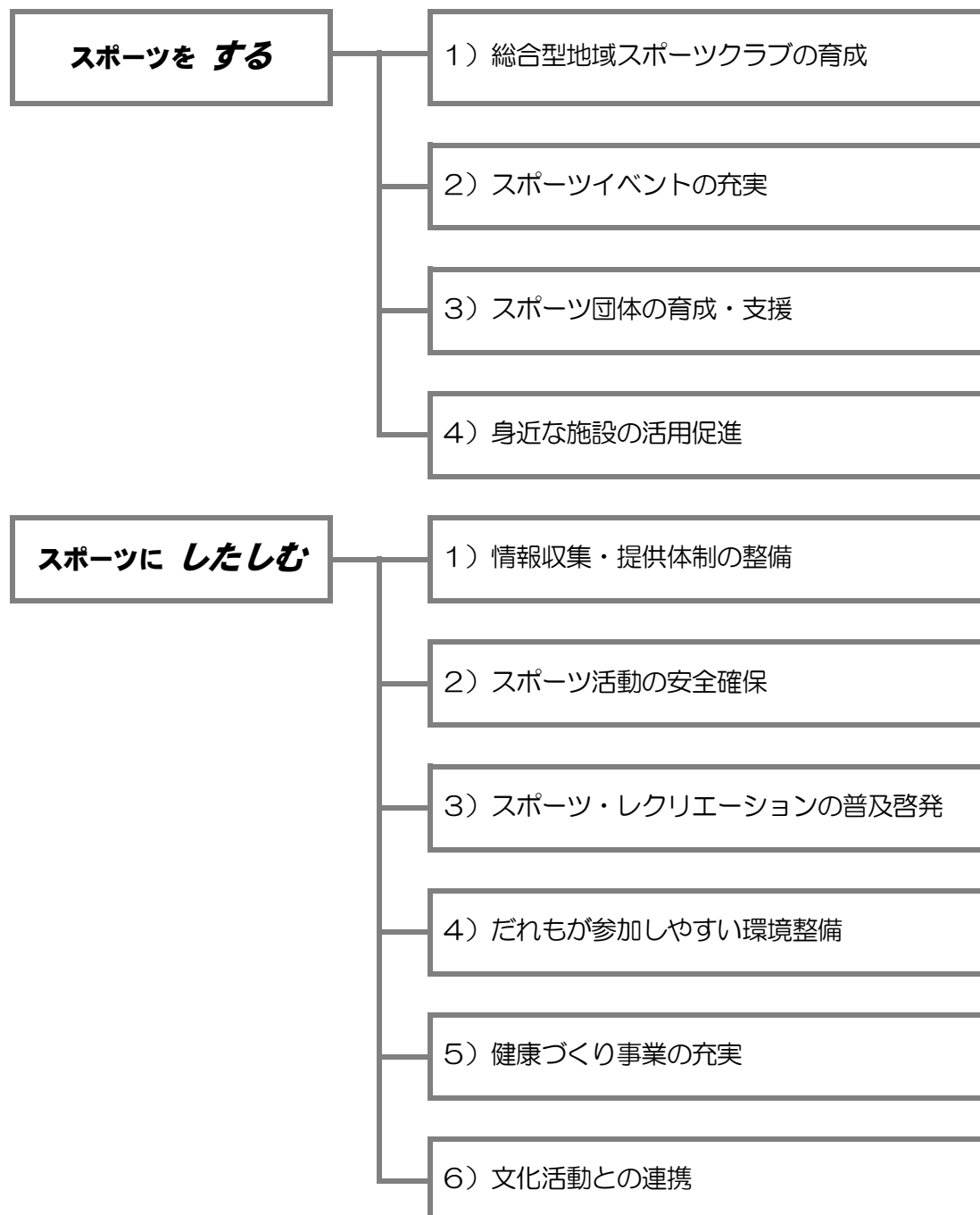
基本方針 3 地域力

スポーツによる
「地域力」のアップ

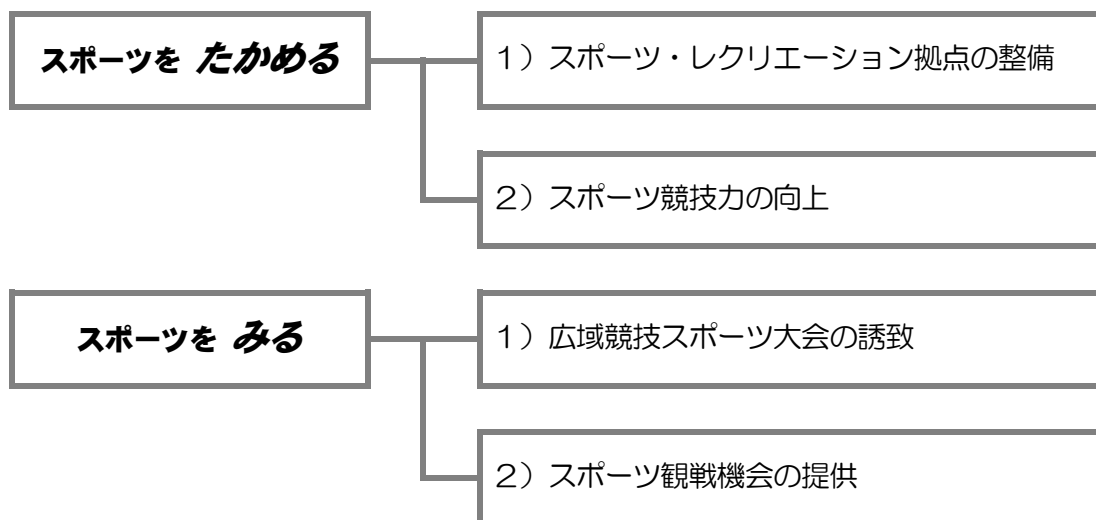
スポーツを**ささえる**
スポーツでは**ごくむ**

第3章 施策体系

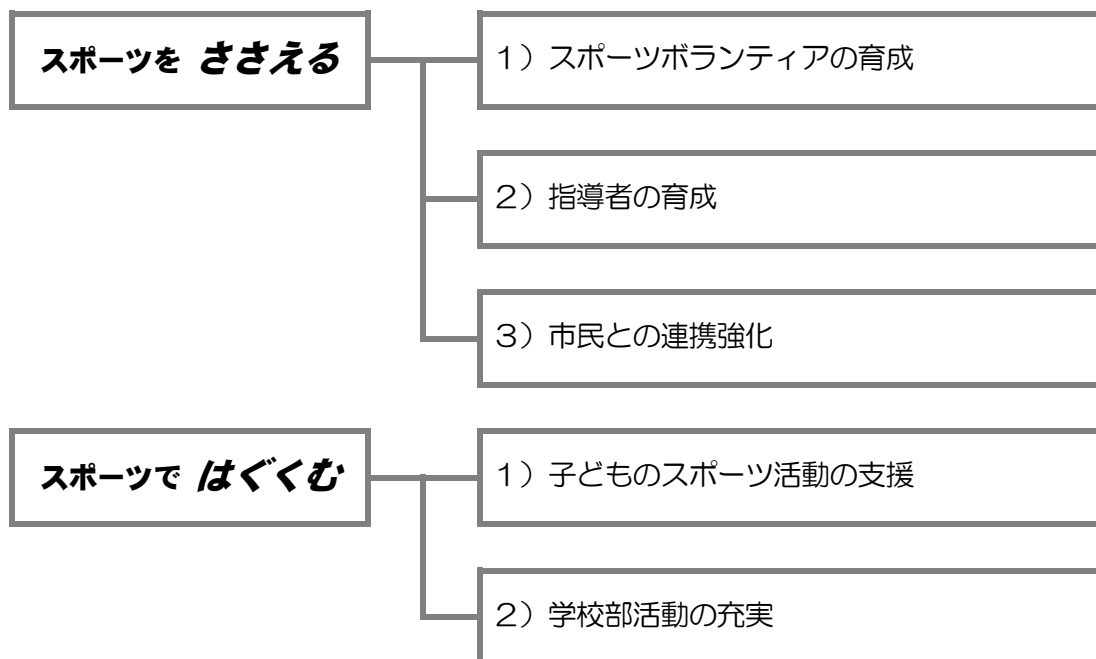
《基本方針1 交流》 スポーツによる市民「交流・健康づくり」の推進



《基本方針2 活力》 スポーツによる地域の「活力」づくり



《基本方針3 地域力》 スポーツによる「地域力」のアップ



第4章 重点施策

1. 重点施策の設定

基本方針に基づき、本計画の中で重点的に取り組んでいく施策・事業を設定し、スポーツ振興を図ります。重点施策は三郷市のスポーツ環境の特徴と課題に対して戦略的に対応するものであり、市民や企業との連携のもと推進することとします。

スポーツをする	総合型地域スポーツクラブの育成 【重点事業】モデル団体の指定・活動促進
スポーツにしたしむ	スポーツ・レクリエーションの普及・啓発 【重点事業】ニュースポーツ・レクリエーション種目の開発・普及 【重点事業】軽スポーツの普及・啓発
スポーツをたかめる	スポーツ・レクリエーション拠点の整備 【重点事業】スポーツ拠点施設の整備
スポーツをみる	広域競技スポーツ大会の誘致 【重点事業】広域競技スポーツ大会の誘致
スポーツをささえる	指導者の育成 【重点事業】体育指導委員活動の充実
スポーツではぐくむ	子どものスポーツ活動の支援 【重点事業】スポーツ少年団の活動支援

2. 三郷市スポーツ推進戦略

① 三郷の特徴を活かしながら推進します。

三郷市にはオリンピックや世界大会への出場選手など、優秀なアスリートが在住しています。これらのアスリートの皆さんの経験や見識、技術を活用した施設整備や人材育成を推進します。

さらに、スポーツに限らず、三郷の人や自然、地勢、産業、交通、歴史、教育、文化などの地域資源を再確認し、「三郷のスポーツのあるべき方向を常に考えながら行動する＝スポーツ三郷学」を推進しつつ、重点施策を展開します。

このことにより、他自治体ではまねのできないような効果的で成果が明確な事業展開を図ります。

② 14万都市にふさわしい拠点施設整備を意識して推進します。

三郷市は第4次総合計画において、人口フレームを平成32年に14万人としています。さらに、「きらりとひかる」まちづくりを進めるために、「ゆとりとぬくもりのある高品質（ハイクオリティ）なまち」をめざすこととしています。

14万人の市民が集い、きらりとひかり、高品質なスポーツ活動が実施できる施設の確保・整備は、スポーツ推進戦略上必要不可欠からざる視点です。

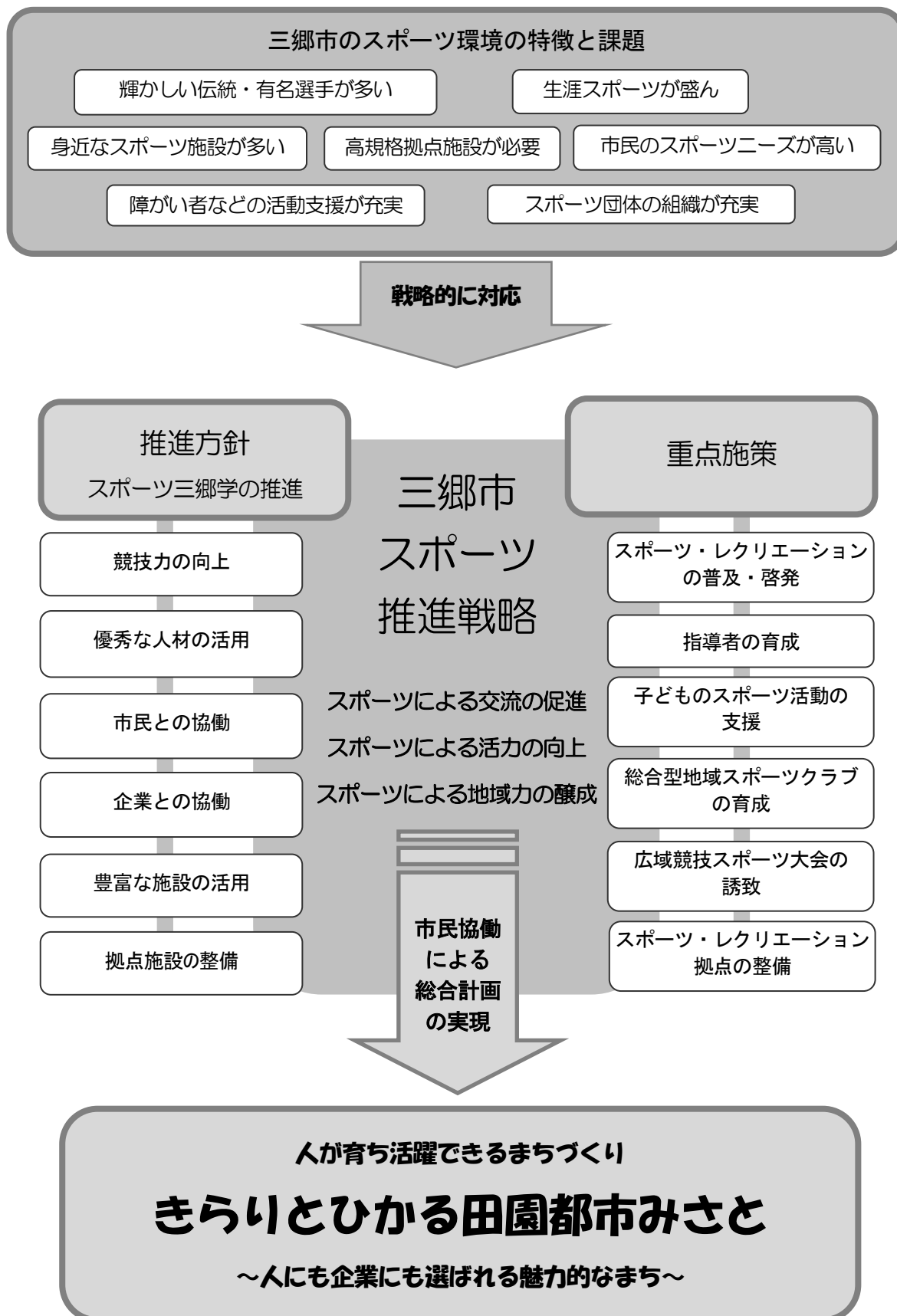
さらに、重点施策・事業を軸とした施策展開を図る上では、どうしても、高品質な拠点施設整備が必要となります。既存施設の有効活用を進めながら、拠点施設整備事業とすべての重点施策、事業を有機的に連携させながら推進します。

③ 市民協働による第4次総合計画実現の一翼を担います。

三郷市第4次総合計画は、「自立都市」「活力都市」「交流都市」をまちづくりの理念としています。三郷市スポーツ推進戦略は、市民協働による施策推進を図ることを最重要のテーマとします。推進戦略の実現により「市民の活力・交流」が向上し、スポーツにより「地域力」が醸成され、第4次総合計画の将来都市像の実現に大きな役割を果たすことを目指します。


このように、市民協働の施策展開を図るため、ハンドボール競技のように市民共通の話題となり、市民が一体となって応援できるような競技種目に注目したスポーツ振興を図ります。

三郷市スポーツ推進戦略（スポーツ三郷学の推進）






第3編 基本計画




第1章 交流

－ スポーツによる市民「交流・健康づくり」の推進 － …… 47




第2章 活力

－ スポーツによる地域の「活力」づくり － …… 55



第3章 地域力

－ スポーツによる「地域力」のアップ － …… 58



第3編 基本計画

第1章 交流

－ スポーツによる市民「交流・健康づくり」の推進 －

1. スポーツをする

スポーツをすることは、スポーツそのものを楽しむことはもとより、スポーツを通じた仲間づくりや交流が重要な要素となっています。スポーツは、地域の市民が一体感を味わいながら楽しめるものであり、本市では行政のみならず、スポーツ団体が中心となった様々なスポーツイベント等も開催されています。今後も、こうした市民の活動を積極的に支援するとともに、民間企業との連携などを進め、スポーツ活動をより発展させていくことが重要です。

また、「総合型地域スポーツクラブ」は、市民の身近な地域で様々なスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、市民が自主的に運営することが必要です。意識調査によると、「総合型地域スポーツクラブ」への市民の期待は高いことから、関係機関・団体と連携しながら、市民のニーズに即した「総合型地域スポーツクラブ」の設立を促進します。

さらに、本市のスポーツ活動の中心である身近な体育施設については、関係団体による管理運営や民間企業と行政の連携による管理運営など、市民がより利用しやすい手法を検討する必要があります。

1) 総合型地域スポーツクラブの育成

事業名	種類	内容
①情報収集、情報提供	継続	○総合型地域スポーツクラブの設立に向けて、先進事例等の情報収集を行い、きめ細かい情報提供を進めます。 ○設立・運営の参考となるよう、先進地の視察研修を行います。
②啓発活動	継続	○市民の総合型地域スポーツクラブに対する理解を深めるため、スポーツ団体等に対して研修会を開催します。 ○総合型地域スポーツクラブに対する市民の関心が高まるよう、広報等を通じたPR活動を行います。

事業名	種類	内容
③モデル団体の指定・活動促進	新規	<p>○総合型地域スポーツクラブの設立を先導的に育成するため、設立意向の高い地域や団体をモデルクラブとして指定し、積極的な支援を行います。</p> <p>○クラブの活動を促進するため、学校クラブスポーツとの交流・連携やクラブハウスなどの施設整備の支援を検討します。</p>

2) スポーツイベントの充実

事業名	種類	内容
①三郷市民体育祭	継続	○身近なところで参加できるスポーツイベントとして、体育協会の主催により各地区で実施されている市民体育祭の開催を支援します。
②みさとシティハーフマラソン大会	継続	○体育協会の主催で実施され、市内だけでなく市外からも多くの参加者がみられるみさとシティハーフマラソン大会の開催を支援します。
③友好都市体育協会スポーツ交流会	継続	○スポーツを通じて多様な交流を図る機会となっている友好都市体育協会スポーツ交流会の参加を促進します。
④その他各種スポーツイベントの充実	拡充	○市民が、自らの目的や趣向に応じて気軽にスポーツに参加できるよう、各種スポーツイベントの充実を図ります。
⑤企業との連携	新規	○スポーツイベントの知名度の向上、情報提供の活発化など、イベントの魅力向上をめざし、イベントに企業の協賛を得るなど、企業との連携強化を図ります。

3) スポーツ団体の育成・支援

事業名	種類	内容
①体育協会への支援	継続	○市民の健康増進と体力の向上を図るとともに、スポーツを通じたコミュニティづくりを推進する体育協会の活動を支援します。
②レクリエーション協会への支援	継続	○スポーツ・レクリエーション活動を通じて、体力や健康の保持・増進並びに生きがいある生活を進め、コミュニティづくりを推進するレクリエーション協会の活動を支援します。
③スポーツ少年団への支援	継続	○スポーツを通じて子どもたちの健全育成を推進するスポーツ少年団の活動を支援します。
④地区スポーツ推進委員会等活動の充実	継続	○地区の自主的なスポーツ活動を推進する地区スポーツ活動推進委員会等の活動を支援します。
⑤団体等への加入促進	継続	○スポーツを始めたい人や仲間づくりをしたい人が、自分の目的や趣向にあった団体・チームに加入しやすいよう情報提供の促進やきっかけづくりを進めます。

4) 身近な施設の活用促進

事業名	種類	内容
①体育施設の活用促進	継続	○市内体育施設・関連施設等の整備内容や機能など、多様な情報を整理するとともに、市民にわかりやすい情報提供を進めます。 ○利用方法のPRを図ります。
②体育施設の整備	拡充	○体育施設の適正な維持管理を図るとともに、冷暖房設備やナイター設備、備品の更新などを進めます。 ○身近な体育施設である小中学校の体育館及びグラウンドの整備を進めるとともに、備品などの更新を進めます。
③学校体育施設利用料金（無料化）の検討	新規	○学校体育施設を気軽に利用し、また、「大切に利用する」意識を育めるよう、学校体育施設の利用料金の無料化を検討します。

事業名	種類	内 容
④予約システムの改善検討	継続	○施設予約の利便性や有効的な利用が図れるよう、予約システムの改善を検討します。
⑤利便性を向上させる施設管理体制	拡充	○施設の一層の有効活用を図るため、関係団体による施設管理手法や民間と行政が協働する施設管理手法など、多様な施設管理体制を検討します。
⑥民間施設の活用	拡充	<p>○市内に立地する民間スポーツ施設の情報を収集し、市民の多様なスポーツニーズに対応した提供体制を検討します。</p> <p>○民間のスポーツ施設との連携を図り、スポーツ教室の開催などを進めます。</p> <p>○民間スポーツ施設利用割引券の発行などを検討します。</p>

2. スポーツにしたしむ

子どもから高齢者まで、障がいの有無にかかわらず、小さい子どもがいても、だれもが気軽に参加できるスポーツ活動の普及が求められています。

さらに、スポーツが苦手な人やスポーツの経験が少ない人であっても、スポーツを楽しみたいという意向がみられます。そのため、健康づくりを目的とするなど気軽に取り組めるスポーツの普及やきめ細かい情報提供が必要です。

また、スポーツ活動が安全に行われるよう、スポーツ事故の防止対策やスポーツ医学の活用などが求められています。

1) 情報収集・提供体制の整備

事業名	種類	内容
①スポーツ情報の収集	継続	○スポーツで活躍する市民や市内で活動するスポーツ団体をはじめ、近隣市町、県内の情報などを収集するとともに、先進的な取り組みなどスポーツに関する多様な情報を収集します。
②スポーツ情報紙の発行支援	継続	○各団体が作成するスポーツ情報紙の発行を支援します。
③広報等の活用	継続	○気軽にスポーツに関する情報が入手できるよう、「広報みさと」をはじめ、「できるソウガイド」、市ホームページなどを活用して、情報提供を行います。
④報道機関との連携	新規	○スポーツに対する関心を高め、市民に活気を与えられるよう、スポーツで活躍する市民を新聞・テレビで紹介するなど、報道機関との連携を進めます。

2) スポーツ活動の安全確保

事業名	種類	内容
①スポーツ事故の防止	拡充	○熱中症や落雷事故などについて、広報紙の活用や団体に対する講習会などを通じ、事故防止の普及啓発に努めます。 ○屋外の体育施設については、一時避難場所の設置検討を進めます。
②スポーツ保険の加入促進	継続	○スポーツにおける事故について、適切に対処できるよう、スポーツ保険の加入促進に努めます。

事業名	種類	内 容
③スポーツ医学の活用	継続	○子どもの成長や身体の状態に合わせるなど、だれもがいつまでもスポーツを楽しむことができるよう、医療機関と連携して講習会などを開催し、スポーツ医学の普及に努めます。

3) スポーツ・レクリエーションの普及・啓発

事業名	種類	内 容
①ニュースポーツ・レクリエーション種目の開発・普及	拡充	○子どもから高齢者まで、いつでも、どこでも、だれもが自分の好みや体力に合わせて楽しめるニュースポーツ・レクリエーション種目の開発・普及に努めます。
②軽スポーツの普及・啓発	拡充	○いつでもどこでもだれもが楽しめる軽スポーツの普及・啓発に努めます。
③水を活かしたスポーツ・レクリエーション種目の普及	新規	○恵まれた水環境を活かし、河川等を利用した、水上スポーツなどの普及に努めます。

4) だれでも参加しやすい環境整備

事業名	種類	内 容
①体育施設におけるバリアフリー環境の整備	拡充	○手すり、スロープの設置や多目的トイレの整備など、だれもが利用しやすい体育施設の整備に努めます。
②外国人のスポーツ参加の促進	継続	○外国人と楽しむスポーツ交流会をはじめ、外国人が参加しやすいスポーツ活動を進めます。
③障がい者のスポーツ参加の促進	拡充	○障がい者スポーツ・レクリエーション交流会をはじめ、障がい者が参加しやすいスポーツ活動を進めます。 ○障がい者スポーツ用具の購入費補助などを検討します。
④託児付きスポーツ教室の開催	新規	○子育て中の親が、健康増進やリフレッシュを兼ねてスポーツを楽しむよう、託児付きのスポーツ教室等の開催を検討します。

5) 健康づくり事業の充実

事業名	種類	内容
① ICウオーク事業の充実	継続	<p>○専用のウオーキングコースをICカードを持ってウオーキングし、インターネットを利用して歩行距離・消費カロリー等を確認できるので、市民の健康管理に役立つよう、事業のPRを進めます。</p> <p>○新コースの設置やイベント等の開催を実施し、健康づくりへの支援を図ります。</p>
②シルバー元気塾の充実	継続	<p>○高齢者の方々の生きがいづくり、健康維持、介護予防等の生活支援を目指し、筋力トレーニングを取り入れた健康体操を行うことにより、転倒防止や腰痛・肩こり等の緩和に効果が表れています。今後もより多くの高齢者が参加できるよう、事業の推進を図ります。</p> <p>○サポーター派遣要領の設置により、市内のみに留まらず、国内全域を対象に指導の推進を図っていきます。</p>
③各世代にわたる健康づくり事業の充実	継続	<p>○町会等の自治組織や健康づくり団体等を通して、スポーツや運動の推進を図り、疾病予防のための知識の普及啓発・生活習慣病予防・介護予防等の取り組みができるよう支援します。</p> <p>○適度な運動習慣により、子どもから高齢者まで、各ライフステージに合わせた健康づくり活動が充実できるよう支援します。</p>
④高齢者の健康増進と介護予防事業の充実	継続	<p>○高齢者のスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、ゲートボール団体への支援を図ります。</p> <p>○シルバー元気塾と連携し、介護予防施策として「シルバー元気塾 ゆうゆうコース」の充実を図ります。</p>
⑤公民館における事業の充実	継続	<p>○地域コミュニティと健康づくりを中心としたスポーツ・レクリエーション事業の推進を図ります。</p> <p>○地域に根ざした施設としてきめ細かい情報提供を行うなど、市民のスポーツ・レクリエーション活動を支援します。</p>

6) 文化活動との連携

事業名	種類	内容
①スポーツとふれあう多様な機 会の提供	新規	○文化活動と連携して、スポーツを題材とした絵 画や写真、俳句展などを実施し、スポーツとふ れあう多様な機会の創出を検討します。



第2章 活 力

－ スポーツによる地域の「活力」づくり －

1. スポーツをたかめる

本市には、公式競技や大規模なスポーツ大会を開催できる高規格の施設が乏しいことから、市スポーツ活動の中核となるような拠点施設整備に対する要望もみられます。

また、市内に専用施設のない競技種目が数多くあります。これらに対応するため、市民ニーズの把握に努めるとともに、スポーツ関係者の意見を聞きながら、多様な種目に対応できる体制の確保に努める必要があります。

今後は、既存施設の整備充実を図るとともに、本市にふさわしい拠点施設の整備について検討を進めることが求められています。

一方、本市には、競技スポーツに優れた市民が数多くおり、その活躍は、市民に大きな活力を与えています。また、市が継続的に全国大会を開催してきたハンドボール競技など、市民に縁の深い競技もあります。これらの競技については、市民の連帯感の醸成のためにも、競技力の向上に努める必要があります。

今後も、スポーツ競技大会出場選手の財政的支援を進めるとともに、競技スポーツの育成・支援が必要です。

1) スポーツ・レクリエーション拠点の整備

事業名	種類	内 容
①スポーツ拠点施設の整備	新規	○公式競技や大規模なスポーツ大会等が行え、市のスポーツ拠点となるような体育施設の整備検討を進めます。
②スポーツ・レクリエーション施設の充実	拡充	○既存の体育施設等の機能や整備の充実を図り、スポーツ・レクリエーションの身近な拠点となるよう、効果的な整備を進めます。
③多様な種目への対応	新規	○特色ある三郷市のスポーツ振興を図るため、多様な種目に対応できる体制の確保に努めます。
④総合的な施設整備の調査・研究	新規	○既存のスポーツ施設の有効活用と、市民ニーズに対応した新たなスポーツ施設の整備方針を策定するため、スポーツ施設の総合的なあり方に関する調査・研究を行います。

2) スポーツ競技力の向上

事業名	種類	内 容
①スポーツ競技大会出場選手奨励支援	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ○国際及び全国スポーツ競技大会出場選手に対する財政的支援を進めます。 ○スポーツ競技団体と連携し、選手強化事業等の充実を図ります。 ○スポーツ競技団体や小中学校、高等学校運動部と連携し、競技スポーツの育成・支援を行います。
②トッププレーヤー等による指導機会の提供促進	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ○トップレベルの技術にふれ、競技力が高められるよう、本市ゆかりのトッププレーヤー等による指導機会の提供を進めます。
③特色を活かした競技力の向上	新規	<ul style="list-style-type: none"> ○市民の連帯感の醸成やスポーツへの関心を高めるため、三郷市に縁のある競技（ハンドボール、陸上競技など）の競技力向上を促します。
④民間スポーツ教室等との連携	新規	<ul style="list-style-type: none"> ○市内の民間スポーツ教室などと連携し、ジュニアからトップまでの一貫した競技力の向上を図ります。

2. スポーツをみる

スポーツをするしないにかかわらず、スポーツをみることを好む人は多くいます。特に、トップレベルの競技を観戦したり、家族や身近な人がかかわる競技を観戦することは、スポーツを楽しむ重要な要素であるといえます。また、スポーツをみることは、自らの技術力を向上させるうえでも有意義なことです。

そのため、市民が気軽にスポーツを観戦できるよう、機会の充実や観覧設備の充実を図ることが必要です。

また、本市の交通の利便性の高さをPRし、広域競技スポーツ大会の誘致を進めるなど、スポーツを通じた活力あるまちづくりを進めます。

1) 広域競技スポーツ大会の誘致

事業名	種類	内容
①広域競技スポーツ大会の誘致	拡充	○高速道路網や鉄道等の交通の利便性を活かし、広域競技スポーツ大会の誘致を進めます。

2) スポーツ観戦機会の提供

事業名	種類	内容
①スポーツ観戦ツアーの企画	新規	○近隣で開催されるスポーツ大会やプロスポーツの試合等を気軽に楽しめるよう、市民への情報提供を行うとともに、観戦バスツアー等の企画を検討します。
②観覧場所の整備	拡充	○多くの市民がスポーツを観戦し、応援できるよう、体育施設等における観覧場所の確保や、日よけ、トイレ等の整備を進めます。 ○多くの来訪者に対応できるよう、体育施設等における駐車場の確保を進めます。

第3章 地域力

－ スポーツによる「地域力」のアップ －

1. スポーツをささえる

スポーツ活動をするにあたっては、活動をささえる人たちや指導者が必要です。

一方で、スポーツに関心のある人たちの中には、自らスポーツをするのではなく、手助けや応援をしたいという人たちもいます。スポーツを振興するためには、スポーツをささえる意識の醸成を図り、市民や企業がスポーツをささえる仕組みづくりや組織作りが重要です。

また、スポーツ活動を安全で充実したものにするためには、適切に指導できる指導者が必要です。市民の多様なスポーツニーズに対応できるよう、指導者の育成に努める必要があります。

1) スポーツボランティアの育成

事業名	種類	内容
①三郷市スポーツボランティア登録制度	新規	○スポーツ活動をささえるスポーツボランティアを育成し、ボランティア登録制度の整備を図ります。

2) 指導者の育成

事業名	種類	内容
①体育指導委員活動の充実	継続	○市民のスポーツ活動の指導・推進を地域に根ざして行う体育指導委員の活動支援を進めます。
②スポーツリーダーバンクの効率的活用	継続	○スポーツにおける人材を発掘し、その活用が図れるよう、スポーツリーダーバンクの効率的な活用を進めます。

3) 市民・企業との連携強化

事業名	種類	内容
①まちづくりパートナー制度の活用	新規	○三郷市まちづくりパートナー制度を活用し、市民・関係機関・団体・民間企業と行政との協働を進めます。
②企業との連携強化	新規	○市民スポーツ活動の充実を図るため、スポーツ施設などへの広告物の取り付け、スポーツイベントへの協賛など、企業が市民スポーツ活動を支援するしくみづくりを進めます。



2. スポーツではぐくむ

核家族化や少子化、地域のかかわりの希薄化など、子どもを取り巻く環境が変化しています。このような中において、子どもたちが地域で元気よく成長していくために、スポーツが果たす役割は大きいといえます。そのため、子どものスポーツ活動の充実が必要です。また、意識調査では、親子一緒にスポーツを楽しみたいという意向もみられることから、家族で楽しめる事業が求められています。

さらに、子どもたちのスポーツに対する意向に応えられるよう、地域でスポーツに優れた人材を、子どもたちのスポーツ活動の指導者として活用することが必要です。

1) 子どものスポーツ活動の支援

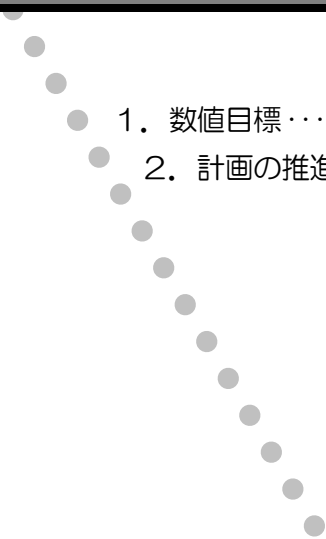
事業名	種類	内容
①スポーツ少年団の活動支援	継続	○健全育成や子どもたちのスポーツ活動の活発化を図るため、スポーツ少年団の育成・活動支援を進めます。
②学童スポーツ団体の活動支援	継続	○健全育成や子どもたちのスポーツ活動の活発化を図るため、学童スポーツ団体の育成・活動支援を進めます。
③親子で楽しめるスポーツ講座の開催	拡充	○親子でスポーツをしたいというニーズに対応し、幼児から青少年まで子どもの各年代に応じて家族で楽しみ参加できるスポーツ講座等の開催を検討します。
④青少年教育事業の実施	継続	○各種キャンプ事業を通して、ゲームやレクリエーション活動、野外活動を実践するとともに、地域リーダーの養成を進めます。

2) 学校部活動の充実

事業名	種類	内容
①学校運動部における地域指導者の活用	継続	○中学校運動部活動を支援するため、外部指導者の活用を進めます。
②高等学校部活動との連携と交流	新規	○各高等学校と連携と交流を強化し、中学校からの一貫した指導体制等の実現に努めます。



第4編 計画の推進

- 
1. 数値目標……………61
 2. 計画の推進体制……………62

第4編 計画の推進

1. 数値目標

誰もが参加でき、本市の豊かなスポーツ活動を実現するためには、市民と行政がともに計画の具体的な目標を共通認識として持つことが重要です。

本計画において重要な施策に関わる目標について、三郷市総合計画との整合性を図りつつ、以下のように設定します。

■ 数値目標

指標名	現状値	27年度	32年度
1) 週1回以上スポーツをする人の割合	32.6%	40.0%	50.0%
2) スポーツ団体に入っている小学5年生の割合	50.5%	55.0%	60.0%
3) 学校の運動部に入っている中学2年生の割合	73.4%	75.0%	75.0%
4) 総合型地域スポーツクラブ数	2団体	1団体	2団体
5) 学校体育施設利用団体登録数	316団体	350団体	384団体
6) 地区スポーツ大会の開催			
①開催数	①33回	①35回	①40回
②参加者数	②2,910人	②3,500人	②4,000人
7) 各種スポーツ教室の参加者数	延べ1,063人	延べ1,500人	延べ2,000人
8) スポーツ・レクリエーション団体の加盟団体数			
①体育協会	①285団体	①327団体	①330団体
②レクリエーション協会	②150団体	②147団体	②150団体
③スポーツ少年団	③15団体	③17団体	③20団体
9) スポーツ競技大会出場者数			
①種目数	①13種目	①13種目	①15種目
②出場者数	②延べ39人	②延べ45人	②延べ50人
10) スポーツ団体によるスポーツ行事参加者数	9,556人	8,500人	9,000人

※現状値について

- 1) ～3) は、「スポーツに関する市民意識調査」(平成21年度実施)による。
- 4) ～10) は、平成21年度の実績(資料:スポーツ推進課)による。

2. 計画の推進体制

行政はじめ、学校、市民、企業など地域社会全体が連携し計画が推進されるよう、その推進体制を整備し、計画の実現を図っていきます。

(1) 市民への周知徹底

本計画内容が広く市民に伝わるよう、広報紙等を活用して周知を図ります。また、関係団体等には計画の概要版を配布するなど、きめ細かい周知活動を行います。

また、計画内容に基づき、市民へのスポーツ情報の提供を進めるとともに、計画の進捗状況の報告を行います。

(2) 市民協働による推進

市民の自主的で主体的なスポーツ活動を期待し、その支援を積極的に行っていきます。特に、総合型地域スポーツクラブなど、市民活動を核とした活動を推進していきます。そのため、スポーツに関する情報提供・相談体制の整備に努めます。

(3) スポーツ関係団体との協働・協調

本市では、スポーツ関係団体が活発に活動しており、スポーツ振興の重要な役割を果たしています。今後も、関係団体との協働を進めながら、計画の推進に努めます。

(4) 民間施設・企業との連携

本計画においては民間施設や企業との連携を推進します。市民の多様なニーズに対応するため、民間の活力、人材、施設を活用し、計画を推進していきます。

(5) 全庁的な取り組み

本計画は、スポーツ推進課を中心としてその推進にあたりますが、健康推進分野、コミュニティ推進分野、市民活動推進分野、生涯学習推進分野など、関連する部局との密接な連携のもと、総合的な推進を図ります。

(6) 計画の進行管理

スポーツ振興審議会に、計画の実施状況とその成果について報告を行います。また、新たに発生した課題等については、スポーツ振興審議会において意見をうかがい、計画の推進に努めていきます。

資料編

資料編

1. 策定経過

年 月 日		事 項	内 容 等
平成21年度	平成21年 5月29日	第1回スポーツ振興基本計画策定委員会	○委員長・副委員長の選出について ○三郷市スポーツ振興基本計画の概要について ○作業部会員の選出依頼
	6月8日	第1回スポーツ振興基本計画策定作業部会	○作業部会長・副部会長の選出について ○計画の概要について ○市民意識調査について
	6月下旬 ～8月上旬	アンケート調査実施	○市民意識調査 ○関係団体調査 ○小中学生調査
	7月23日	第2回スポーツ振興基本計画策定作業部会	○スポーツ環境の現状把握 ○基本計画施策体系・事業内容について
	8月7日	第2回スポーツ振興基本計画策定委員会	○スポーツ環境の現状報告 ○基本計画施策体系・事業内容について ○市民意識調査実施の経過報告
	8月20日	平成21年度教育委員会第8回定例会	○スポーツ振興審議会に対し、諮問することについて
	8月26日	平成21年度第1回スポーツ振興審議会	○三郷市スポーツ振興基本計画について諮問
	9月1日	第3回スポーツ振興基本計画策定作業部会	○市民意識調査結果報告について ○計画素案の検討
	9月30日	第3回スポーツ振興基本計画策定委員会	○基本方針・計画素案の検討
	10月13日	平成21年度第2回スポーツ振興審議会	○三郷市スポーツ振興基本計画について答申
	10月21日	平成21年度教育委員会第10回定例会	○スポーツ振興審議会からの答申
	11月9日	政策会議	○スポーツ振興基本計画素案協議 ○パブリック・コメント手続きの予告と実施について
	11月30日	第4回スポーツ振興基本計画策定委員会・作業部会 (合同会議)	○計画素案の検討
	12月9日	政策会議	○スポーツ振興基本計画素案協議 ○パブリック・コメント手続きの予告と実施について
	12月24日	平成21年度教育委員会第12回定例会	○パブリック・コメント手続きのため素案を公表することについて議決

年 月 日		事 項	内 容 等
平成22年度	平成22年 5月10日	第5回スポーツ振興基本計画策定委員会	○策定委員改選について ○計画策定の経緯について ○計画素案の説明について
	5月11日	スポーツ関係団体説明会	○計画素案についての説明と意見聴取
	5月19日	第6回スポーツ振興基本計画策定委員会	○計画素案の検討 ○計画素案掲載データの確認・修正
	6月15日	政策会議	○スポーツ振興基本計画素案協議 ○パブリック・コメント手続きの予告と実施について
	7月26日 ～8月24日	パブリック・コメント実施	○ホームページ及び市内公共機関17か所で素案公表
	8月30日	第7回スポーツ振興基本計画策定委員会	○パブリック・コメント結果の報告 ○計画素案の検討・確認
	8月31日	平成22年度第1回スポーツ振興審議会	○パブリック・コメント結果の報告
	9月30日	平成22年度教育委員会第9回定例会	○議案提案
	10月上旬	三郷市スポーツ振興基本計画の決定	

2. 三郷市スポーツ振興審議会委員名簿

◇ 平成20年6月1日～平成22年5月31日

敬称略・順不同 ◎は会長 ○は副会長

番号	氏名	備考
1	豊田 幹雄	知識経験者
2	篠田 壽和	知識経験者
3	梶原 武士	知識経験者
4	小暮 正文	知識経験者
5	松本 公一	知識経験者
6	◎ 石川 和昭	知識経験者
7	小林 孝至	知識経験者
8	神白 高子	知識経験者
9	○ 東條 雅裕	知識経験者
10	駒崎 秀雄	知識経験者
11	木村 俊次郎	知識経験者
12	榎本 匡志	知識経験者
13	小宮 育子	知識経験者
14	植松 一幸	関係行政機関の職員

◇ 平成22年6月1日～平成24年5月31日

敬称略・順不同 ◎は会長 ○は副会長

番号	氏名	備考
1	豊田 幹雄	知識経験者
2	篠田 壽和	知識経験者
3	梶原 武士	知識経験者
4	小暮 正文	知識経験者
5	松本 公一	知識経験者
6	◎ 石川 和昭	知識経験者
7	小林 孝至	知識経験者
8	神白 高子	知識経験者
9	○ 東條 雅裕	知識経験者
10	駒崎 秀雄	知識経験者
11	吉井 仁実	知識経験者
12	榎本 匡志	知識経験者
13	小宮 育子	知識経験者
14	遠井 和子	知識経験者
15	植松 一幸	関係行政機関の職員

3. 三郷市スポーツ振興基本計画策定委員会設置規程

平成21年4月24日
市長 決 裁

(設置)

第1条 スポーツ振興法(昭和36年法律第41号)第4条第3項の規定に基づき三郷市のスポーツ振興を総合的かつ効率的に推進する計画(以下「三郷市スポーツ振興基本計画」という。)の策定に際し、必要な事項を協議するため、三郷市スポーツ振興基本計画策定委員会(以下「策定委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 策定委員会は、三郷市スポーツ振興基本計画の策定を行う。

(組織)

第3条 策定委員会は、次に掲げる者を委員として組織する。

- (1) 生涯学習部長
- (2) 企画調整課長
- (3) 財務課長
- (4) 健康推進課長
- (5) 市民活動支援課長
- (6) 長寿いきがい課長
- (7) 障がい福祉課長
- (8) 子ども支援課長
- (9) 産業振興課長
- (10) 営繕課長
- (11) 都市計画課長
- (12) みどり公園課長
- (13) 消防総務課長
- (14) 指導課長
- (15) 生涯学習課長
- (16) 青少年課長
- (17) スポーツ推進課長
- (18) 前各号に定める者のほか、市長が指名する者
(委員長及び副委員長)

第4条 策定委員会に、委員長及び副委員長1人を置く。

- 2 委員長は、生涯学習部長とし、副委員長は、委員の中から委員長が指名する。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議等)

第5条 委員長は、会議を招集し、会議の議長となる。

- 2 委員長は、必要があると認めるときは、関係職員の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(部会)

第6条 策定委員会は、三郷市スポーツ振興基本計画の策定に際し、専門的事項の検討及び調査研究を行うため、三郷市スポーツ振興基本計画策定作業部会（以下「部会」という。）を置くことができる。

- 2 部会は、次に掲げる課の職員を部会員として組織する。

- (1) 企画調整課
- (2) 財務課
- (3) 健康推進課
- (4) 市民活動支援課
- (5) 長寿いきがい課
- (6) 障がい福祉課
- (7) 子ども支援課
- (8) 産業振興課
- (9) 営繕課
- (10) 都市計画課
- (11) みどり公園課
- (12) 消防総務課
- (13) 指導課
- (14) 生涯学習課
- (15) 青少年課
- (16) スポーツ推進課

- 3 部会に、部会長及び副部会長1人を置く。

- 4 部会長及び副部会長は、部会員の互選により選出する。

- 5 部会長は、部会を代表し、会務を総理し、副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときは、その職務を代理する。

- 6 部会の会議は、委員長が招集し、部会長は会議の議長となる。

(任期)

第7条 委員及び部会員の任期は、三郷市スポーツ振興基本計画の策定が完了するまでの期間とする。

(庶務)

第8条 策定委員会の庶務は、生涯学習部スポーツ推進課において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

附 則

この規程は、市長決裁の日から施行する。

4. 三郷市スポーツ振興基本計画策定委員会委員名簿

敬称略・順不同 ◎は委員長 ○は副委員長

所 属	平成21年度	平成22年度
生涯学習部長	◎ 中 村 豊	◎ 中 村 豊
企画調整課長	田 中 富 雄	田 中 彰 則
財務課長	相 澤 和 也	石 井 富 貴 和
健康推進課長	葛 西 益 夫	海老原 實
市民活動支援課長	坂 口 善 行	中 野 森 衛
長寿いきがい課長	島 根 康 暢	森 好 弘
障がい福祉課長	道 言 薫	道 言 薫
子ども支援課長	深 谷 稔	深 谷 稔
産業振興課長	西 尾 信 一 郎	西 尾 信 一 郎
営繕課長	渡 辺 裕 司	渡 辺 裕 司
都市計画課長	大久保 正 司	大久保 正 司
みどり公園課長	○ 植 松 一 幸	○ 植 松 一 幸
消防総務課長	南 部 正 彦	南 部 正 彦
指導課長	青 木 健 司	星 健 次 郎
生涯学習課長	大 村 秀 司	齊 藤 義 治
青少年課長	戸 張 道 夫	戸 張 道 夫
スポーツ推進課長	加 藤 敬 広	石 井 輝 信

5. 三郷市スポーツ振興基本計画策定作業部会員名簿

敬称略・順不同 ◎は部会長 ○は副部会長

所 属	平成21年度
企画調整課	伊 藤 元 彦
財務課	白 石 幸 弘
健康推進課	守 屋 希伊子
市民活動支援課	◎ 中 野 森 衛
長寿いきがい課	○ 三 浦 直 美
障がい福祉課	横 田 隆 宏
子ども支援課	佐 藤 幸 男
産業振興課	峰 川 修 一
営繕課	布 川 真 一
都市計画課	佐々木 康 裕
みどり公園課	永 瀬 勝 己
消防総務課	金 子 功
指導課	中 村 和 美
生涯学習課	菅 谷 雄 一
青少年課	宮 田 全 朗
スポーツ推進課	松 井 佳 代

※22年度の作業部会は組織せず

三郷市スポーツ振興基本計画

－ スポーツで交流し、活力あるまちづくり －

平成22年10月

発行 / 三郷市教育委員会 スポーツ推進課
〒341-8501 三郷市花和田648-1
電話 048 (930) 7760 (直通)

